

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

#9
Priority
9-15-03
DJS

(translation of the front page of the priority document of
Japanese Patent Application No. 2001-014544)

JC925 U.S. PTO
10/045664
01/15/02

JAPAN PATENT OFFICE

This is to certify that the annexed is a true copy of the
following application as filed with this Office.

Date of Application: January 23, 2001

Application Number : Patent Application 2001-014544

Applicant(s) : Mazda Motor Corporation

December 21, 2001

Commissioner,
Japan Patent Office

Kouzo OIKAWA

Certification Number 2001-3109773

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 1月23日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-014544

出 願 人

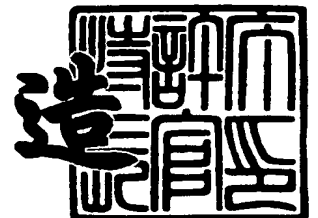
Applicant(s):

マツダ株式会社

2001年12月21日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3109773

【書類名】 特許願

【整理番号】 M20001107

【提出日】 平成13年 1月23日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明の名称】 車両情報提供装置、車両情報提供システム、車両情報提供方法、並びにコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

【請求項の数】 19

【発明者】

 【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

 【氏名】 高岡 啓喜

【発明者】

 【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

 【氏名】 鵜越 聡一

【発明者】

 【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

 【氏名】 池田 興二

【発明者】

 【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

 【氏名】 後藤 誠

【発明者】

 【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

 【氏名】 上田 芳輝

【特許出願人】

 【識別番号】 000003137

 【氏名又は名称】 マツダ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100076428

 【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 康德

【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

【識別番号】 100115071

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 康弘

【電話番号】 03-5276-3241

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003458

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0002937

【ブループの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 車両情報提供装置、車両情報提供システム、車両情報提供方法、並びにコンピュータ読み取り可能な記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記憶装置にアクセスし、その記憶装置に格納されている納車前の複数車両の進捗状況に関する情報を取得可能な情報取得手段と、

前記情報取得手段を制御することにより、電気通信回線を介して双方向通信可能に接続された情報端末より取得したところの、ユーザまたは車両を特定する識別情報をキーとして前記記憶装置を参照し、その識別情報に対応する特定車両の進捗状況に関する情報を取得すると共に、取得した情報を、該識別情報が送出された前記情報端末に提供する情報提供手段と、
を備えることを特徴とする車両情報提供装置。

【請求項 2】 前記車両の進捗状況に関する情報には、前記特定車両が納車されるまでの複数段階における状況を表わす画像が含まれる
ことを特徴とする請求項 1 記載の車両情報提供装置。

【請求項 3】 前記車両の進捗状況に関する情報には、車両メーカーの組み立てラインにおいて組立中の前記特定車両の撮影画像が含まれる
ことを特徴とする請求項 1 記載の車両情報提供装置。

【請求項 4】 前記車両の進捗状況に関する情報には、車両メーカーにて組み立てが完了した前記特定車両の、搬送時の輸送経路及び／または現在位置を表わすところの、画像または座標位置情報が含まれる
ことを特徴とする請求項 1 記載の車両情報提供装置。

【請求項 5】 前記情報提供手段は、前記車両の進捗状況に関する情報を、前記識別情報の取得に応じて、または所定のタイミングで、前記識別情報が送出された前記情報端末に提供する
ことを特徴とする請求項 2 乃至請求項 4 の何れかに記載の車両情報提供装置。

【請求項 6】 前記車両の進捗状況に関する情報には、車両メーカーの組み立てラインにおいて前記特定車両が組み立てられる予定時刻が含まれており、
前記情報提供手段は、前記特定車両が組み立てられる予定時刻を、その予定時

刻に先立って前記特定車両の納車を待つユーザに報知すると共に、該予定時刻が到来したときには、前記組み立てラインにおいて組立中の前記特定車両の撮影画像を、前記識別情報が送出された前記情報端末に提供する

ことを特徴とする請求項 1 記載の車両情報提供装置。

【請求項 7】 前記記憶装置に格納された前記複数車両の進捗状況に関する情報が、納期変更に関する情報によって更新されたことが前記情報取得手段によって認識されたときに、前記情報提供手段は、前記情報取得手段を制御することにより、納期変更が発生する特定車両を、前記識別情報に従って特定すると共に、前記識別情報によって特定された情報端末に、その旨を報知する

ことを特徴とする請求項 1 記載の車両情報提供装置。

【請求項 8】 前記情報提供手段は、前記ユーザの情報端末への納期変更が発生する旨を、その情報端末への電子メールによって報知する

ことを特徴とする請求項 7 記載の車両情報提供装置。

【請求項 9】 前記情報提供手段による情報提供は、前記電気通信回線を介して前記特定車両の見積から購入決定までを行うことにより、前記識別情報を取得済みのユーザに対してのみ行われる

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 の何れかに記載の車両情報提供装置。

【請求項 10】 前記電気通信回線にはインターネットが含まれ、

前記情報提供手段は、前記特定車両の進捗状況に関する情報を、所定のデータ形式にて記述された Web ページのデータファイルとして、前記情報端末に提供する

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 9 の何れかに記載の車両情報提供装置。

【請求項 11】 電気通信回線を介して双方向通信可能な、車両メーカーに属する情報提供装置とユーザが所有する情報端末とからなる車両情報提供システムであって、

前記情報提供装置は、

記憶装置にアクセスし、その記憶装置に格納されている納車前の複数車両の進捗状況に関する情報を取得可能な情報取得手段と、

前記情報取得手段を制御することにより、前記情報端末より取得したところの

、ユーザまたは車両を特定する識別情報をキーとして前記記憶装置を参照し、その識別情報に対応する特定車両の進捗状況に関する情報を取得すると共に、取得した情報を、該識別情報が送出された前記情報端末に提供する情報提供手段とを備え、

前記情報端末は、

前記識別情報を前記情報提供装置に送出するのに応じて、前記特定車両の進捗状況に関する情報を、前記情報提供装置より取得すると共に、その情報をユーザに報知する情報報知手段を備える

ことを特徴とする車両情報提供システム。

【請求項 1 2】 前記記憶装置に格納された前記複数車両の進捗状況に関する情報が、納期変更に関する情報によって更新されたことが前記情報取得手段によって認識されたときに、前記情報提供手段は、前記情報取得手段を制御することにより、納期変更が発生する特定車両を、前記識別情報に従って特定すると共に、前記識別情報によって特定された情報端末に、その旨を報知することを特徴とする請求項 1 1 記載の車両情報提供システム。

【請求項 1 3】 前記情報提供手段は、前記ユーザの情報端末への納期変更が発生する旨を、その情報端末への電子メールによって報知することを特徴とする請求項 1 2 記載の車両情報提供システム。

【請求項 1 4】 前記電気通信回線にはインターネットが含まれ、前記情報提供装置において、前記情報提供手段は、前記特定車両の進捗状況に関する情報を、所定のデータ形式にて記述された Web ページのデータファイルとして、前記情報端末に提供し、

前記情報端末において、

前記情報報知手段は、前記インターネットのブラウザを含み、そのブラウザを実行することにより、前記特定車両の進捗状況に関する情報に応じた前記 Web ページの画面を表示する

ことを特徴とする請求項 1 1 乃至請求項 1 3 の何れかに記載の車両情報提供システム。

【請求項 1 5】 電気通信回線を介して双方向通信可能な、車両メーカーに属する情報提供装置とユーザが所有する情報端末とを利用した車両情報提供方法であって、

前記情報端末よりユーザまたは車両を特定する識別情報を、前記電気通信回線を介して前記情報提供装置に送出することにより、双方向通信可能な状態に遷移する通信アクセス工程と、

前記通信アクセス工程にて受信した前記識別情報に従って、記憶装置に格納されている納車前の複数車両の進捗状況に関する情報の中から、その識別情報に対応する特定車両の進捗状況に関する情報を取得する共に、取得した情報を、該識別情報が送出された前記情報端末に提供する情報提供工程と、

前記特定車両の進捗状況に関する情報を、前記情報提供装置より取得すると共に、その情報を、前記情報端末においてユーザに報知する情報報知工程と、を有することを特徴とする車両情報提供方法。

【請求項 1 6】 更に、前記記憶装置に格納された前記複数車両の進捗状況に関する情報が、納期変更に関する情報によって更新されたことを認識する情報更新認識工程を有し、

前記情報提供工程では、前記情報更新認識工程にて情報の更新が認識されたときに、納期変更が発生する特定車両を、前記識別情報に従って特定すると共に、前記識別情報によって特定された情報端末に、その旨を報知することを特徴とする請求項 1 5 記載の車両情報提供方法。

【請求項 1 7】 前記情報提供工程では、前記ユーザの情報端末への納期変更が発生する旨を、その情報端末への電子メールによって報知することを特徴とする請求項 1 6 記載の車両情報提供方法。

【請求項 1 8】 前記電気通信回線にはインターネットで含まれ、

前記情報提供工程では、前記特定車両の進捗状況に関する情報を、所定のデータ形式にて記述された Web ページのデータファイルとして、前記情報端末に提供し、

前記情報報知工程では、前記インターネットのブラウザを実行することにより、前記特定車両の進捗状況に関する情報に応じた前記 Web ページの画面を表示

する

ことを特徴とする請求項 1 5 乃至請求項 1 7 の何れかに記載の車両情報提供方法

【請求項 1 9】 請求項 1 乃至請求項 1 4 の何れかに記載の車両情報提供装置としてコンピュータを動作させるプログラムコードが格納されていることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電気通信回線を介してオンラインで、車両に関する情報をユーザが所有する情報端末に提供する車両情報提供装置の分野に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来より、代表的な車両である自動車の分野においては、電気通信回線を介してオンラインで、車両に関する情報をユーザが所有する情報端末に提供する技術が提案されており、このような技術の一例として、例えば特開平 7 - 1 9 9 8 2 0 号には、オンラインで自動車の仮想展示を行う技術が提案されている。

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

上記従来の技術によれば、自動車の購入を希望する顧客は、旧来より行われている商品カタログの収集だけでなく、国内では一般にディーラと称される販売代理店に何件も出かけていなくても、複数種類の自動車に関する情報を閲覧することができ、顧客にとっては利便性が良く、販売代理店にとっては効率的な営業活動が実現する。

【0 0 0 4】

しかしながら、上記従来の技術では、オンラインによる自動車の仮想展示が行われるのみであり、それ以降の納車までの各段階にオンラインを利用することには触れられていない。

【0 0 0 5】

また、一般的な顧客にとって、購入すべき商品の選定から実際の購入までの各行為はそれ自体が楽しいものであるが、上記従来技術、或いは従来において、購入契約を行ってから実際に納車されるまでの自動車の購入に伴う顧客（ユーザ）の期待感等の気持ちを満足させることはできず、顧客により大きな満足感を感じてもらうためには、係る期待感等の気持ちを充足する新たな手法（エンターテインメント性）が望まれる。

【 0 0 0 6 】

そこで本発明は、納車までの特定車両の進捗状況をユーザに提供する、エンターテインメント性に優れた車両情報提供装置、車両情報提供システム、車両情報提供方法、並びにコンピュータ読み取り可能な記憶媒体の提供を目的とする。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、本発明に係る車両情報提供装置は、以下の構成を特徴とする。

【 0 0 0 8 】

即ち、記憶装置にアクセスし、その記憶装置に格納されている納車前の複数車両の進捗状況に関する情報を取得可能な情報取得手段と、前記情報取得手段を制御することにより、電気通信回線を介して双方向通信可能に接続された情報端末より取得したところの、ユーザまたは車両を特定する識別情報をキーとして前記記憶装置を参照し、その識別情報に対応する特定車両の進捗状況に関する情報を取得すると共に、取得した情報を、該識別情報が送出された前記情報端末に提供する情報提供手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

好適な実施形態において、前記車両の進捗状況に関する情報には、

- ・前記特定車両が納車されるまでの複数段階における状況を表わす画像が含まれる、
- ・車両メーカーの組み立てラインにおいて組立中の前記特定車両の撮影画像（例えば写真画像やビデオ撮影画像）が含まれる、或いは、
- ・車両メーカーにて組み立てが完了した前記特定車両の、搬送時の輸送経路及び

／または現在位置を表わすところの、画像または座標位置情報が含まれると良い。

【 0 0 1 0 】

また、上記の各装置構成において、前記情報提供手段は、前記車両の進捗状況に関する情報を、前記識別情報の取得に応じて、または所定のタイミングで、前記識別情報が送出された前記情報端末に提供すると良い。

【 0 0 1 1 】

また、例えば前記車両の進捗状況に関する情報には、車両メーカーの組み立てラインにおいて前記特定車両が組み立てられる予定時刻が含まれており、前記情報提供手段は、前記特定車両が組み立てられる予定時刻を、その予定時刻に先立って前記特定車両の納車を待つユーザに報知すると共に、該予定時刻が到来したときには、前記組み立てラインにおいて組立中の前記特定車両の撮影画像を、前記識別情報が送出された前記情報端末に提供しても良い。

【 0 0 1 2 】

また、好適な実施形態において、前記記憶装置に格納された前記複数車両の進捗状況に関する情報が、納期変更に関する情報によって更新されたことが前記情報取得手段によって認識されたときに、前記情報提供手段は、前記情報取得手段を制御することにより、納期変更が発生する特定車両を、前記識別情報に従って特定すると共に、前記識別情報によって特定された情報端末に、例えば電子メールによってその旨を報知すると良い。

【 0 0 1 3 】

ここで、前記電気通信回線にインターネットが含まれる場合、前記情報提供手段は、前記特定車両の進捗状況に関する情報（より具体的には、更新履歴情報等）を、所定のデータ形式にて記述された Web ページのデータファイルとして、前記情報端末に提供すると良い。

【 0 0 1 4 】

尚、上記の目的は、前記情報提供装置をコンピュータによって実現するプログラムコードが格納されているコンピュータ読み取り可能な記憶媒体、前記情報提供装置と情報端末とからなる車両情報提供システム、並びに当該システムに対応

する車両情報提供方法によっても達成される。

【 0 0 1 5 】

【発明の効果】

上記の本発明によれば、納車までの特定車両の進捗状況をユーザに提供する、エンターテイメント性に優れた車両情報提供装置、車両情報提供システム、車両情報提供方法、並びにコンピュータ読み取り可能な記憶媒体の提供が実現する。

【 0 0 1 6 】

即ち、請求項 1、請求項 1 1、請求項 1 5 の発明によれば、ユーザは、自分が購入した特定車両の納車までの各段階を、所有するコンピュータ等の情報端末において容易に把握することができ、納車を待つユーザの期待感を充足することができる。

【 0 0 1 7 】

また、請求項 2 の発明によれば、ユーザは、自分が購入した特定車両の納車までの各段階を、例えば組立中の撮影画像（請求項 3）、搬送時の輸送経路及び／または現在位置（請求項 4）が含まれる画像によって容易に認識することができ、納車への期待感及び納車までのエンターテイメント性を向上することができる。

【 0 0 1 8 】

また、請求項 5 の発明によれば、ユーザの利便性を向上することができる。

また、請求項 6 の発明によれば、ユーザは、自分が購入した特定車両が実際に組み立てられるところを画像によって認識することができ、納車への期待感及び納車までのエンターテイメント性を向上することができる。

【 0 0 1 9 】

また、請求項 7、請求項 1 2、請求項 1 6 の発明によれば、例えば納期の確定や納期遅延等の納期変更を、例えば電子メール（請求項 8、請求項 1 3、請求項 1 7）によってユーザに効率的に知らせることができる。

【 0 0 2 0 】

また、請求項 1 0、請求項 1 4、請求項 1 8 の発明によれば、現在広く普及し

つつあるインターネットを利用して、ユーザが購入した特定車両の納車までの各段階を、容易に報知することができる。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を、代表的な車両である自動車の個別仕様車（特定車両）についての見積・発注システムに適用した実施形態として、図面を参照して詳細に説明する。

【 0 0 2 2 】

本実施形態において、個別仕様車とは、本システムを利用して、所定の仕様・装備を備える標準仕様車（ベース仕様車）を基本として、所定の複数項目についてユーザ（顧客）自身によって所望の仕様選定がなされた車両である。

【 0 0 2 3 】

【ハードウェアの全体構成】

図 1 は、本実施形態における個別仕様車見積・発注システムの全体構成を示す概念図である。

【 0 0 2 4 】

同図において、1 は、本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムによって仕様選定及び発注が行われた個別仕様車を生産する自動車メーカーのためのサーバコンピュータであり、主に、ユーザ端末 5 に対するアプリケーション・サーバとして機能する。このサーバコンピュータは、当該自動車メーカーに存在する場合も、或いは当該自動車メーカーのためにその外部において他の運用者によって運営される場合も想定される（以下、本実施形態では、車両メーカー側サーバと称する）。

【 0 0 2 5 】

車両メーカー側サーバ 1 は、その動作中に必要に応じて、一般的な手法により、メーカー希望小売価格データベース（DB）3 1 と、進捗管理 DB 3 2 とにアクセスすることができる。メーカー希望小売価格 DB 3 1 には、自動車メーカーが希望する小売価格（以下、メーカー希望小売価格）が、本システムにおいて個別仕様車として選定可能な仕様項目毎に、個々の仕様項目を特定する識別情報に関連付けさ

れた状態で予め格納されている（進捗管理DB32については後述する）。

【0026】

2は、本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムを利用して仕様が決定された自動車を実際に販売すべく、その自動車の見積価格を決定するサーバコンピュータであり、当該自動車メーカーに存在する場合、当該自動車メーカーの自動車を販売する販売代理店に存在する場合、或いは当該販売代理店のために外部において他の運用者によって運営される場合等が想定される（以下、本実施形態では、販売代理店側サーバと称する）。

【0027】

販売代理店側サーバ2は、その動作中に必要に応じて、一般的な手法により、見積価格DB35にアクセスすることができ、これにより、見積価格DB35に仕様項目毎の識別情報と共に予め格納されている当該仕様項目毎のメーカー希望小売価格を、見積価格DB35の内部に取得することができる。

【0028】

販売代理店側サーバ2のユーザは、見積価格DB35の内部に取得した当該仕様項目毎のメーカー希望小売価格を参照しながら、それら各仕様項目を当該販売代理店が販売する場合に各ユーザに対して自動的に提示する見積価格を、当該仕様項目毎に見積価格DB35に設定する。尚、販売代理店側サーバ2の動作については、図20を参照して後述する。

【0029】

ここで、販売代理店側サーバ2のユーザにとって、自動車メーカーが設定した膨大な仕様項目毎に、当該サーバに対して見積価格を設定するのは現実的には困難であるので、好適な実施形態においては、販売代理店側サーバ2のユーザが選択した複数の仕様項目に関して、それら各仕様項目のメーカー希望小売価格に対して割り引く割合（％）が入力されるのに応じて、それら各仕様項目について割引された見積価格が自動的に設定されるように構成すると良い。

【0030】

また、本実施形態において、複数の販売代理店が存在する場合、ある1つの販売代理店は、自身が管理する見積価格DB35にアクセスし、登録されている内

容を参照・変更することは可能であるが、各販売代理店による販売業務の自主性及び独立性を担保すべく、現在では一般的なセキュリティ機能により、他の販売代理店が管理する見積価格DB35の内容を参照・変更することはできないように構成されている。

【0031】

本実施形態において、販売代理店に設けられた見積価格DB35内に設定された仕様項目毎の見積価格は、販売代理店の販売業務及び見積価格に影響を及ぼさないように（即ち、販売代理店の販売業務の独立性を担保すべく）、車両メーカーサーバ1からは参照・変更することはできない。

【0032】

また、車両メーカーサーバ1に接続された記憶装置（データベース）の内部等のように、当該自動車メーカーに見積価格DB35を設ける場合であっても、同様に各販売代理店による販売業務の独立性を担保すべく、当該自動車メーカーは、見積価格DB35の見積価格は参照・変更することはできないように構成される。但し、個別仕様が確定した車両に対して車両メーカーサーバ1にて見積価格を算出する場合には、見積価格DB35の内容の参照だけは可能にする必要がある。

【0033】

3は、代表的な電気通信回線であるインターネットである。5は、パーソナルコンピュータ、携帯情報端末、或いは携帯電話等のユーザ端末である。

【0034】

11は、当該自動車メーカーから出荷された個別仕様車を搬送する搬送車両である。搬送車両（本実施形態では船舶や鉄道等の輸送機関を含むものとする）11には、搬送車両11の現在位置を検出すると共に、検出した現在位置を外部に送出するGPS通信モジュール12が搭載されている。

【0035】

13は、当該自動車メーカーにおいて少なくとも個別仕様車が生産される組立ライン（生産ライン）であり、個別仕様車の組み立て状況は、組立ライン13の近傍に設けられたビデオカメラやデジタルカメラ等の撮影装置14によって撮影され、撮影されたビデオ画像または写真画像は、進捗管理DB32に格納される（

詳細は後述する)。

【0036】

そして、上記の構成において、ユーザ端末5、車両メーカー側サーバ1、販売代理店側サーバ2は、後述する個別車両の見積・発注に関する情報を送受信すべく、インターネット3を介して、一般的な通信手法に従って、双方向通信を行うことができる。このとき、ユーザ端末5がパーソナルコンピュータである場合には、プロバイダ(インターネットプロバイダ)4を介して電話回線等も使用される。また、ユーザ端末5が携帯情報端末や携帯電話である場合には、基地局8を介して公衆無線電話回線等も使用される。これらの通信手段自体には一般的な構成を採用するものとし、本実施形態における詳細な説明は省略する。

【0037】

また、GPS通信モジュール12によって検出された搬送車両11の現在位置は、通信衛星11及び基地局9を介してインターネット3上を伝送され、その後、車両メーカー側サーバ1によって進捗管理DB32に格納されが、この場合も、通信手段自体には一般的な構成を採用するものとし、本実施形態における詳細な説明は省略する。

【0038】

図2は、本実施形態における車両メーカー側サーバ1、販売代理店側サーバ2、及びユーザ端末5の内部構成を例示するブロック図である。

【0039】

図中、22は、液晶表示器等のディスプレイ、23は入力手段であるキーボードである。24は、ブートプログラム等を記憶しているROMである。25は、各種処理結果を一時記憶するRAMである。26は、プログラム等を記憶するハードディスクドライブ(HDD)等の記憶装置である。27は、外部の装置と通信回線30(本実施形態ではインターネット3等)を介して通信するための通信インタフェースであり、ユーザ端末5がコンピュータの場合はモデムやTAであり、ユーザ端末5が携帯情報端末や携帯電話である場合には無線送受信機である。そして28は、マウス等のポインティング・デバイスである。これらの各構成は、内部バス29を介して接続されており、CPU(中央演算処理装置)21は

記憶装置 26 に記憶したプログラムに従って装置全体を制御する。本実施形態において、ディスプレイ 22、キーボード 23、並びにポインティング・デバイス 28 は、後述する各表示画面において、ユーザに対して所謂マン・マシンインタフェースを提供する。

【0040】

本実施形態において、車両メーカー側サーバ 1、販売代理店側サーバ 2、並びにユーザ端末 5 は、インターネット通信を行うことが可能な一般的な通信プロトコルのソフトウェア（ソフトウェアプログラム）、並びに、そのソフトウェアに従ってインターネット 3 を介してデータを送受信するインターネットブラウザ機能及びメール機能、並びにブラウザを描画する一般的なソフトウェアを有する。

【0041】

そして、上記の各ソフトウェアが CPU 21 によって適宜実行されることにより、車両メーカー側サーバ 1 とユーザ端末 5 とは、ユーザ端末 5 がインターネット 3 を介して車両メーカー側サーバ 1 に接続された（ログインした）状態において、所謂サーバ・クライアント環境を形成する。

【0042】

【個別仕様車見積・発注システムの機能体系】

図 3 は、本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムにおいて実行される処理モジュールの機能体系を示す図であり、同図に示す各ブロックは、車両メーカー側サーバ 1 の CPU 21 が実行するところの、後述する機能毎に大別したソフトウェア（ソフトウェアプログラム）の一単位であり、本実施形態では、この機能単位を、処理モジュールと称する。これらの処理モジュールは、車両メーカー側サーバ 1 の記憶装置 26 等に予め格納されている。

【0043】

ここで、各処理モジュールの機能について概説する。

【0044】

・イニシャル処理（M1）：個別仕様車見積・発注システムのトップ画面（ホームページ）をユーザ端末 5 に表示すると共に、個別仕様車の仕様選定や見積依頼等を行うための他の画面への遷移が可能である。

【0045】

・車両仕様選定処理（M2）：ユーザ端末5のユーザ（顧客）が、購入を検討している車種の自動車について予め用意された選択肢の中から所望の仕様を選定する操作を繰り返すことにより、ユーザ端末5に対して、所望の個別仕様車の選定可能な環境を提供する。更に、個別仕様車の仕様が確定した場合には、見積・査定依頼処理（M3）への遷移が可能である。

【0046】

・見積・査定依頼処理（M3）：個別仕様車の仕様が確定したユーザが希望する場合、販売代理店に対して、その個別仕様車の販売価格の見積や下取車両の査定依頼を依頼可能な環境を提供すると共に、指定された販売代理店には、その旨を報知する。

【0047】

・見積事項確認処理（M4）：ユーザ端末5のユーザが、所望の仕様が確定した個別仕様車に対して既に見積価格を提示した顧客である場合に、そのユーザに対して、現在までの見積価格の経緯や仕様一覧等の情報を提供すると共に、そのユーザが当該個別仕様車をローンで購入する場合のクレジット審査や実際に発注するための商談申込み等を行うための他の画面への遷移が可能である。

【0048】

・クレジット審査処理（M5）：仕様が確定した個別仕様車を購入するに際してユーザ（顧客）がローンで購入することを希望する場合、当該ユーザが入力した条件に基づくクレジット審査を、信販会社に対して依頼する。

【0049】

・商談申し込み処理（M6）：仕様が確定した個別仕様車について実際の購入に向けた商談をユーザ（顧客）が希望する場合、その旨を販売代理店に報知する。

【0050】

・納期照会処理（M7）：個別仕様車を発注したユーザ（顧客）に対して、その個別仕様車を実際に納車できるまでの状況及び納期を報知する。

【0051】

・インストラクション処理（M8）：本個別仕様車見積・発注システムの利用方法や各機能の説明等がユーザ（顧客）に対して提供される。

【 0 0 5 2 】

本実施形態において説明する個別仕様車見積・発注システムによれば、上記の処理モジュール群（図 1 6 乃至図 2 1 に示すフローチャートを参照して後述する）が車両メーカー側サーバ 1 にて実行されると共に、ユーザ端末 5 のディスプレイ 2 2 に各種画面を表示させるための基本となるソフトウェアとして、ユーザ端末 5 において図 1 5 に示すフローチャートのソフトウェアが実行されることにより、ユーザ端末 5 のディスプレイ 2 2 には、図 4 乃至図 8（図 2 2 乃至図 3 5）に示す各種画面の表示等によるマン・マシンインタフェースが提供される。係るマン・マシンインタフェースを利用して、ユーザ端末 5 のユーザ（顧客）は、所望する個別仕様車についての仕様選定、見積、発注等を行うことができる。

【 0 0 5 3 】

【ユーザ端末 5 にて実行されるソフトウェア】

ここで、ユーザ端末 5 の CPU 2 1 が実行するところの、各種画面を表示するためのソフトウェアについて説明する。

【 0 0 5 4 】

図 1 5 は、本実施形態において、車両メーカー側サーバ 1 のサービスを受けるユーザ端末 5 が実行するソフトウェアのフローチャートである。

【 0 0 5 5 】

ユーザ端末 5 の記憶装置 2 6 には、前述したように予めブラウザプログラムが格納されており、ユーザは、まず、車両メーカー側サーバ 1 の CPU 2 1 が実行可能な個別仕様車見積・発注システムにクライアントとして自端末をリンクさせるべく、当該ブラウザプログラムを所定の手順で起動する（即ち、記憶装置 2 6 内のブラウザプログラムを RAM 2 5 に読み込み、その読み込んだプログラムを CPU 2 1 により実行する）と共に、起動したブラウザの所定のエリアに所定の URL を入力する。その後、個別仕様車見積・発注システムへのリンクがインターネット 3 を介して行われると、ユーザ端末 5 の CPU 2 1 は、以下のステップ S 1 以降の処理を開始する。

【0056】

図15において、ステップS1：リンク先のサイト（車両メーカー側サーバ1）よりホームページ（HP）の表示画面データ等を、通信インタフェース27を介してRAM25に受信する。本実施形態では、Webページの記述言語の一例として、一般的なHTML(Hyper Text Markup Language)を採用している。

【0057】

ステップS2：車両メーカー側サーバ1より受信した表示画面データ、その表示画面に埋め込むデータ等に応じて、ディスプレイ22に画面を表示する。

【0058】

ステップS3：キーボード23からの数値等のキー入力及び／またはポインティングデバイス28によるポインティング操作が行われたか否かを検出する。

【0059】

ステップS4：ステップS3でYES（入力操作を検出）のときには、ディスプレイ22に表示している画面に対する所定の入力項目のデータ及び／またはポインティング操作に応じたデータを、通信インタフェース27を介して車両メーカー側サーバ1に送信する。

【0060】

ステップS5：ブラウザの終了指示を表わす所定の入力操作が行なわれたか否かを判断し、その判断結果がNO（終了指示なし）のときにはステップS2に戻る。一方、ステップS8の判断結果がYES（終了指示あり）のときにはブラウザプログラムの実行を終了し、そのプログラムが駐在していたRAM25の領域を開放する。

【0061】

【車両メーカー側サーバ1にて実行されるソフトウェア】

次に、車両メーカー側サーバ1のCPU21により実行されるソフトウェアについて説明する。以下の説明では、まず、上述した各処理モジュールに共通の画面表示処理を図16に示すフローチャートを参照して説明し、次に、図17に示すフローチャートを参照しながら、各処理モジュール間における状態遷移について説明する。更に、図4乃至図8を参照しながら、各処理モジュールにおける表示

画面の遷移について説明する。

【 0 0 6 2 】

(1) 各処理モジュールに共通のウィンドウ画面表示処理

図 1 6 は、本実施形態において車両メーカー側サーバ 1 が実行する各処理モジュールに共通のウィンドウ画面表示処理を示すフローチャートであり、車両メーカー側サーバ 1 にログインしているユーザ端末 5 のディスプレイ 2 2 に、ユーザの入力操作に応じたウィンドウ画面を表示するために行われる処理である。この処理は、後述する各表示画面において、ユーザ端末 5 のユーザの所定の操作によって使用する機能に変更されるのに応じて、車両メーカー側サーバ 1 の CPU 2 1 により開始される。

【 0 0 6 3 】

図 1 6 において、ステップ S 3 1 : ユーザ端末 5 に表示すべきトップ画面（即ち、所定の操作により指定された機能に対応するトップ画面）内に必要な項目のデータを、車両メーカー側サーバ 1 の記憶装置 2 6 より読み出す。

【 0 0 6 4 】

ステップ S 3 2 : 当該表示すべきトップ画面の表示画面データ及びステップ S 3 1 で記憶装置 2 6 より読み出したデータを、インターネット 3 を介してログインしているユーザ端末 5 に送信する。このとき、これらの表示画面データ等を通信インタフェース 2 7 を介して受信したユーザ端末 5 の CPU 2 1 は、現在実行しているブラウザ機能により当該受信した表示画面データ等を解釈し、その解釈に応じてディスプレイ 2 2 にトップ画面を表示する。

【 0 0 6 5 】

ステップ S 3 3 : 本システムの利用終了を示すデータを受信したか否かを検出し、YES（受信した）のときには処理を中止する。

【 0 0 6 6 】

ステップ S 3 4 : ステップ S 3 3 の判断で NO（未受信）のときには、ユーザ端末 5 に現在表示されているウィンドウ画面上でソフトウェアボタン（以下、ボタン）（アイコンを含む）が押下（クリック）されたことを示すデータをインターネット 3 を介して受信したか否かを検出し、NO（未受信）のときにはステッ

ブ S 3 3 に戻る。

【 0 0 6 7 】

ステップ S 3 5 : ステップ S 3 3 の判断で Y E S (受信した) のときには、現在表示されているウィンドウ画面によりユーザが使用可能な機能とは異なる他の機能を選択するためのボタンか否かを判断し、その判断の結果が Y E S (他の機能を示す) のときにはステップ S 3 1 に戻る。一方、ステップ S 3 5 の判断の結果が N O (他の機能ではない) のときには、ステップ S 3 7 に進む。

【 0 0 6 8 】

ステップ S 3 6 : ステップ S 3 3 の判断で N O (未受信) のときには、現在ユーザ端末 5 にて表示中のウィンドウ画面に対するユーザの操作入力に応じて、インターネット 3 を介して受信するデータを、車両メーカー側サーバ 1 の記憶装置 2 6 や進捗管理 D B 3 2 に書き込む (更新を含む) 及び / または新たにデータを読み出す。

【 0 0 6 9 】

ステップ S 3 7 : 必要に応じて、ステップ S 3 6 で読み出したデータ及びそのデータを表示するウィンドウ画面を表わす表示画面データを、インターネット 3 を介してログインしているユーザ端末 5 に送信し、ステップ S 3 3 に戻る。このとき、これらの表示画面データ等を、ステップ S 3 2 の場合と同様に受信したユーザ端末 5 の C P U 2 1 は、例えば、現在まで表示していたトップ画面に從属しているウィンドウ画面の表示や、現在表示しているウィンドウ画面の一部への新たなウィンドウ画面の表示等を行なう。

【 0 0 7 0 】

(2) 各処理モジュール間における状態遷移

図 1 7 は、本実施形態において車両メーカー側サーバ 1 が実行する処理の全体概要を示すフローチャートである。

【 0 0 7 1 】

車両メーカー側サーバ 1 にて実行される M 1 乃至 M 8 の処理モジュール群は、後述する各種ウィンドウ画面をユーザ端末 5 のディスプレイ 2 2 に表示し、その表示したウィンドウへの入力操作を実現する機能を有しており、これら各処理モジ

ユーザ内における表示画面の遷移については、図4乃至図8を参照して後述する。

【0072】

図17において、ステップS11、ステップS12：インターネット3を介してユーザ端末5が本システムのサイトにリンクすることにより、イニシャル処理（M1）が実行され（ステップS11）、その実行中には、他の処理についての起動要求データを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し（ステップS2）、当該データを受信したときには、そのデータに応じて、ステップS13、ステップS16、ステップS21、或いはステップS22に進み、当該データを受信しないときにはステップS23に進む。

【0073】

ステップS13～ステップS15：車両仕様選定処理（M2）を実行し（ステップS13）、その実行中には、見積・査定依頼処理（M3）についての起動要求データを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し（ステップS14）、当該データを受信したときには、見積・査定依頼処理（M3）を実行する（ステップS15）。

【0074】

ステップS16～ステップS20：見積事項確認処理（M4）を実行し（ステップS16）、その実行中には、クレジット審査処理（M5）、或いは商談申し込み処理（M6）についての起動要求データを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し（ステップS17、ステップS19）、当該データを受信したときには、そのデータに応じて、クレジット審査処理（M5）、或いは商談申し込み処理（M6）を実行する（ステップS18、ステップS20）。

【0075】

ステップS22：インストラクション処理（M8）を実行する。

【0076】

ステップS23、ステップS24：上記の各処理モジュールを実行中において、本システムの利用終了を示すデータを当該ユーザ端末5より受信したかを判断し（ステップS23）、当該データを受信したときには、実行中の処理モジュール

ルの処理を中止し（ステップ S 2 4）、当該データを受信しないときにはステップ S 1 2 に戻る。

【 0 0 7 7 】

（ 3 ） 各処理モジュール内における表示画面の遷移

次に、上記のように概説した大別して 8 種類の処理モジュール内における表示画面の遷移について、図 4 乃至図 8 を参照して説明する。ここで、図 4 乃至図 8 において破線ブロックで示す各処理モジュール間の状態遷移の関係は、図 3 を参照して上述した機能体系に従う。

【 0 0 7 8 】

< イニシャル処理（ M 1 ）、車両仕様選定処理（ M 2 ） >

図 4 は、イニシャル処理（ M 1 ）と車両仕様選定処理（ M 2 ）における表示画面の遷移を示す図である。

【 0 0 7 9 】

同図において、イニシャル処理（ M 1 ）は、本システムのホームページ画面であるトップ画面 A - 1 （図 2 3 ）を表示する。図 2 3 に例示するトップ画面 A - 1 には、個別仕様車の仕様選定、見積、発注等が可能な本システムの利用を希望するユーザ（即ち、インターネット 3 を介して車両メーカー側サーバ 1 にリンクしているユーザ端末 5 のユーザ）が操作する「 E n t e r 」ボタンが含まれている。イニシャル処理（ M 1 ）は、この「 E n t e r 」ボタンが操作されると、本システムのホーム画面 A - 2 （図 2 4 ）を、当該ユーザ端末 5 に表示する。

【 0 0 8 0 】

図 2 4 は、イニシャル処理（ M 1 ）が表示するホーム画面 A - 2 を例示する図である。

【 0 0 8 1 】

同図に示す表示画面には、複数の操作ボタンが含まれており、「このサイトについて」または「ご購入手順」の操作ボタンが操作されたときには、後述するインストラクション処理（ M 8 ）の機能により、当該ユーザ端末 5 には、所定の説明画面が展開される。また、「ご購入検討一覧」の操作ボタンが操作されたときには、当該ユーザ端末 5 に対して、後述する見積事項確認処理（ M 4 ）の機能が

提供される。そして、「ご購入車両納期照会」の操作ボタンが操作されたときには、当該ユーザ端末 5 に対して、後述する納期照会処理（M 7）の機能が提供される。

【 0 0 8 2 】

また、ホーム画面 A - 2 において、スポーツタイプの車種 A またはワゴンタイプの車種 B の写真部分がクリックされたときには、当該ユーザ端末 5 に対して、車両仕様選定処理（M 2）の機能が提供される。

【 0 0 8 3 】

本実施形態において、車両仕様選定処理（M 2）は、説明の都合上から、一例としてスポーツタイプの車種 A またはワゴンタイプの車種 B について、ユーザ所望の個別仕様車の仕様選定を行うことができる。

【 0 0 8 4 】

ホーム画面 A - 2 において所望の車種が選択されると、車両仕様選定処理（M 2）の機能により、選択された車種の標準仕様車（ベース仕様車）を基本として、所定の複数項目について所望の仕様選定から確定までをユーザ自身が行うことができる。換言すれば、当該システム内部に標準仕様車として予め設定されている各種の仕様（装備）は、ユーザの仕様選定操作により、他の仕様（装備）に置き換えられる、或いは、標準仕様車には設定されていない新たな装備（オプション装備）が追加される。

【 0 0 8 5 】

図 2 5 は、車両仕様選定処理（M 2）が表示する車両仕様選定画面（B - 1 乃至 B - 1 5）のフォーマットを例示する図であり、当該画面の基本的なフォーマットは、エンジン・トランスミッション選定画面 B - 1 及び B - 8、タイヤ・ホイール選定画面 B - 2 及び B - 9、インテリア選定画面 B - 3 及び B - 1 0、オーディオ選定画面 B - 4 及び B - 1 1、ボディーカラー選定画面 B - 5 及び B - 1 2、並びにデコレーションパーツ選定画面 B - 6 及び B - 1 3 において基本的に共通である。

【 0 0 8 6 】

これら車両仕様選定画面の詳細な構成については、本願の本質ではないので説

明及び図示を省略するが、ここで各画面の機能を概説する。

【 0 0 8 7 】

エンジン・トランスミッション選定画面（B-1，B-8）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において先に選定した所望の車種について、搭載可能な複数種類のエンジン及びトランスミッションの組み合わせの中から、所望の組み合わせを選択することができる。

【 0 0 8 8 】

タイヤ・ホイール選定画面（B-2，B-9）：この画面は、エンジン・トランスミッション選定画面（B-1，B-8）において先に選定されたエンジン及びトランスミッションの組み合わせに応じて表示される。ユーザ端末5のユーザは、この画面において選択肢として提示される複数種類のタイヤ及びホイールの組み合わせの中から、所望の組み合わせを選択することができる。更に、対象車種によっては、アンチロックブレーキ（ABS）やトルセンLSD等の装備を選択することができる。

【 0 0 8 9 】

インテリア選定画面（B-3，B-10）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において選定した所望の車種に採用可能な複数種類の内装（インテリア）の中から、所望の内装を選択することができる。

【 0 0 9 0 】

オーディオ選定画面（B-4，B-11）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において選定した所望の車種に採用可能な複数種類のオーディオシステムの中から、所望のものを選択することができる。

【 0 0 9 1 】

ボディーカラー選定画面（B-5，B-12）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において選定した所望の車種に採用可能な複数種類のボディーカラーの中から、所望のものを選択することができる。

【 0 0 9 2 】

デコレーションパーツ選定画面（B-6，B-13）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、ホーム画面A-2において選定した所望の車種に採用可

能な複数種類のデコレーションパーツ（オプションパーツ）の中から、所望のものを選択することができる。

【0093】

ここで、販売代理店においてユーザへの納車前に装着される、所謂ディーラオプション扱いのデコレーションパーツには、一般に、自動車メーカーにおいて組み立てられた自動車の物理的な要因（例えば形状や取り付けスペース等）の制約がある。従って、本システムにおいて係るディーラオプション扱いのデコレーションパーツをも選定可能にする場合には、上記の各画面において先に選定された各仕様項目に応じて、デコレーションパーツ選定画面（B-6，B-13）において選択肢として表示するパーツ群が制約されるように構成する必要がある。

【0094】

これらの車両仕様選定画面において、上半分の領域には、ホーム画面A-2において選択された車種及びその内装写真、それら写真を拡大表示可能な「ZOOM」ボタン、当該車種に関する各種情報を表示可能な「商品情報」ボタン、当該車種の標準仕様車に関する仕様や諸元等が含まれる標準仕様表示画面B-7または及びB-14を表示可能な「標準仕様車情報」ボタン、ユーザが選択した仕様に応じた車両単位（個別仕様車1台分として）のメーカー希望小売価格、そのメーカー希望小売価格の明細について図26に例示する如く表示可能な「明細」ボタン、並びにユーザが選択済みの仕様の各項目について詳細が表示される。

【0095】

本実施形態では、車両仕様選定画面において、メーカー希望小売価格が車両単位または仕様項目単位で表示可能であるため、所望仕様の個別仕様車を選定する際の購入価格の目安をユーザに提示することができ、利便性が向上する。

【0096】

図26は、図25に示す「明細」ボタンが操作された場合に表示されるメーカー希望小売価格の明細画面を例示する図であり、車両単位のメーカー希望小売価格と、その根拠となる選択済みの各仕様項目とその項目毎のメーカー希望小売価格等が表示される。

【0097】

また、ユーザによる個別仕様車の選定作業は、車種AであればB-1からB-6の各選定画面、車種BであればB-8からB-13の各選定画面の順番へと順に仕様項目を選定するような制約を受けるように構成されており、車両仕様選定画面の下半分の領域には、上記のB-1乃至B-6またはB-8乃至B-13の各画面に対応する各選定工程（ステップ）が、一例として、複数枚重ねられたフォルダ形式で表示される。

【0098】

図25の例では、第3ステップのフォルダが選択された状態が表示されており、選択されたフォルダ（アクティブな状態）には、そのステップにおいてユーザが選定すべき仕様項目について、選択可能な選択肢が、写真等のイメージ、標準仕様車との価格差、並びに名称（型式番号）等と共に表示される。表示された選択肢の中からユーザが所望の選択肢（仕様）を選択するのに応じて、その選択された仕様情報は、車両メーカー側サーバ1に当該ユーザを特定する識別情報（ID）と共に格納される。

【0099】

このとき、車両メーカー側サーバ1は、当該選択された仕様項目情報をキーとしてメーカー希望小売価格DB31を参照することによって当該仕様項目についてのメーカー希望小売価格を取得し、取得した当該仕様項目についてのメーカー希望小売価格を、それまでの各ステップにて既に選定されている仕様項目に加える。

【0100】

これにより、図25の右上に表示されていた車両単位のメーカー希望小売価格は更新され、その後「明細」ボタンが選択されれば、図26に例示した明細表示画面には、現在のステップにおいて選定された仕様項目及びそのメーカー希望小売価格についての欄が追加された状態で表示される。

【0101】

また、好適な実施形態において、ユーザが各ステップにおいて所望の仕様項目を選択するのに応じて、仕様選定中の個別仕様車のイメージを、選択された仕様項目（例えばボディーカラーやホイール等）が反映された状態に更新されるように構成すると良い。

【0102】

更に好ましくは、選定が終了したステップのフォルダの表示色（図25ではステップ1及びステップ2）は、これから選択が行われるべきステップ（図25ではステップ3乃至ステップN）のフォルダの表示色と異なる色に変更すると良い。

【0103】

更に、車両仕様選定画面の下半分の領域には、ホーム画面A-2（図24）にジャンプすることが可能な「HOME」ボタン、前後の表示画面に遷移可能な「BACK」及び「NEXT」ボタンが表示される。

【0104】

また、車両仕様選定処理（M2）の各ステップにおいてユーザに許容される選択肢には、所定の制約が予め設けられており、その基本的な考え方としては、個別仕様車の仕様選定作業の第1ステップとして、その車両の動力性能を決定する基幹部分の仕様選択が行われるように制約が設けられており、且つその後の段階においても、該第1ステップにおいて選定された仕様が最優先されるように制約が設けられている。

【0105】

即ち、本実施形態では、第1ステップとして、当該自動車メーカーにおいて生産可能な自動車の基幹部分をなす駆動系の部材選定（より具体的には、エンジン・トランスミッション選定画面B-1及びB-8に相当する）と、選定された駆動系の部材に対して予め登録されている車輪周辺部材の選定（より具体的には、第2ステップのタイヤ・ホイール選定画面B-2及びB-9に相当する）とが順に行われることにより、まず、走行性能及び動力性能に直接的な影響を与える自動車のメカニズムについての仕様が、自動車の走行性能には直接的には寄与しないインテリア、オーディオ、エクステリア等の仕様選定に先立って決定される。

【0106】

図9は、車両仕様選定処理（M2）において車種A（スポーツタイプ）のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、車種Aのメカニズムについて所望の仕様を選定すべく、同図左側に示すベースグレード及

びベースモデルである標準仕様車を基本として、右方向に順番に、エンジン／トランスミッション、サスペンション／タイヤ・ホイール、アンチロックブレーキ（ABS）、トルセンLSDの各仕様項目の選択肢が設定されている。

【 0 1 0 7 】

図10は、車両仕様選定処理（M2）において車種A（スポーツタイプ）のインテリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、図9に示す選択肢の制約に基づいて、許容される何れかのメカニズムが決定された車種Aについて採用される。同図に示す例では、右方向に順番に、インテリアの色や仕様等の各仕様項目の選択肢が設定されているが、メカニズムの場合と異なり、デザインや価格面の観点に基づいて設定された制約である。

【 0 1 0 8 】

そして、図11は、車両仕様選定処理（M2）において車種A（スポーツタイプ）のオーディオを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、同図に示す例では、図9及び図10に示す選択肢の制約に基づいて何れかのメカニズム及びインテリアが決定された全ての車種Aについて、全てのオーディオシステムが選択可能に設定されている。

【 0 1 0 9 】

図9乃至図11に示す選択肢の制約情報は、上述した車両仕様選定画面の各ステップにおいてユーザによって選択肢が選択されるのに応じて、次のステップに対応する画面において表示すべき選択肢として参照される情報として、例えば車両メーカー側サーバ1の記憶装置26等に予め設定される。そして、図9乃至図11に示す全ての仕様項目が選定されることにより、当該ユーザの個別仕様車に対する識別情報（車種ID）が選択される。また、この時点で選択された車種IDは、当該自動車メーカーが車種Aについて公的機関から予め取得した型式認定に属する。

【 0 1 1 0 】

図12は、車両仕様選定処理（M2）において車種B（ワゴンタイプ）のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、基本的には図9を参照して上述した車種A（スポーツタイプ）の系統図と同様な構成であ

るが、車種Bはワゴンタイプであるため、スポーツタイプの車種Aと比較してシンプルな仕様項目が設定されている。

【 0 1 1 1 】

図 1 3 は、車両仕様選定処理（M 2）において車種B（ワゴンタイプ）のインテリア（ここではオーディオシステムを含むものとする）を選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、基本的には図 1 0 を参照して上述した車種A（スポーツタイプ）の系統図と同様な構成であるが、同図に示す例では、図 1 2 の制約の基に先に選定されたエンジンの種類に応じて、価格面を考慮して、シンプルな仕様項目が設定されている。

【 0 1 1 2 】

そして図 1 4 は、車両仕様選定処理（M 2）において車種B（ワゴンタイプ）のエクステリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図であり、同図に示す例では、図 1 2 の制約の基に先に選定されたエンジンの種類に応じて、価格面を考慮して、シンプルな仕様項目が設定されている。

【 0 1 1 3 】

図 1 2 乃至図 1 4 に示す選択肢の制約情報は、上述した車両仕様選定画面の各ステップにおいてユーザによって選択肢が選択されるのに応じて、次のステップに対応する画面において表示すべき選択肢として参照される情報として、例えば車両メーカー側サーバ 1 の記憶装置 2 6 等に予め設定される。そして、図 1 2 乃至図 1 4 に示す全ての仕様項目が選定されることにより、当該ユーザの個別仕様車に対する識別情報（車種ID）が選択されることになる。また、この時点で選択された車種IDは、当該自動車メーカーが車種Bについて公的機関から予め取得した型式認定に属する。

【 0 1 1 4 】

ここで、本実施形態において説明している見積・発注システムを利用して所望仕様の個別車両を購入しようとするユーザ（顧客）は、基本的には、単なる移動手段として自動車を運転する通常のドライバと比較して運転そのものを好むことが予想され、このようなユーザは、自動車の購入に際して、駆動系やタイヤ・ホイール等の足回りの構成にも関心が高いことが容易に予想されるが、上述したよ

うな選択肢の制約を採用すれば、係るユーザの要求を効率良く且つ高い次元で満たすことができる。

【 0 1 1 5 】

また一般に、自動車には、量産及び販売に先立って対象となる車種及びその仕様について公的機関から型式認定を予め取得する必要があるが、この型式認定は、自動車の安全走行に大きく関与する動力性能が基本とされるが、上述した制約を採用すれば、最終的に決定される車種 I D を、本システムによって選定可能な複数種類の個別仕様車について公的機関から予め取得した型式認定の範囲内に、効率良く且つ確実に納めることができる。

【 0 1 1 6 】

従って、このような制約の基に、車両仕様選定画面において選定操作を順次行うことにより、ユーザ端末 5 のユーザ（顧客）は、ホーム画面 A - 2（図 2 4）において選択した所望の車種についての個別仕様車を、ユーザ自身のインタラクティブなゲーム感覚の操作によって簡単に選定することができ、当該ユーザは、自動車のチューニングショップのエンジニアが自動車をチューニングしていく感覚を味わうことができる。

【 0 1 1 7 】

そして、車両仕様選定処理（M 2）において個別仕様車の仕様に必要な全ての仕様項目の選定が完了すると、図 2 7 に示す選定仕様表示画面 B - 1 5 が表示される。

【 0 1 1 8 】

図 2 7 は、車両仕様選定処理（M 2）が表示する選定仕様表示画面 B - 1 5 を例示する図である。選定仕様表示画面 B - 1 5 には、一例として、仕様が選定された個別仕様車の外観及びインテリアの写真イメージ、選択された仕様項目及びその価格、標準仕様車の価格等が表示される。

【 0 1 1 9 】

そして、選定仕様表示画面 B - 1 5 において、実販売価格の見積請求、或いは販売代理店への販売価格の見積請求を行うべく、「販社見積請求」ボタンが操作されたときには、選定された個別仕様車の仕様項目が確定し、後述する見積・査

定依頼処理（M3）に遷移することができる。一方、「戻る」ボタンが操作されたときには、上述した各ステップに対応する車両仕様選定画面に順次戻って、仕様項目の変更を行うことができる。即ち、一旦前の選択肢に戻らないと他の選択肢は選択することができない。

【0120】

＜見積・査定依頼処理（M3）＞

図5は、見積・査定依頼処理（M3）における表示画面の遷移と、見積・査定の依頼に伴う電子メールの送信機能を示す図であり、車両仕様選定処理（M2）における個別仕様車の仕様選定後に、上記の「販社見積請求」ボタンが操作されるのに応じて起動する。見積・査定依頼処理（M3）からは、ユーザの操作に応じて、車両仕様選定処理（M2）に遷移することができる。

【0121】

同図に示すように、見積・査定依頼処理（M3）における表示画面の遷移としては、見積請求トップ画面C-1（図28）、査定申込入力画面C-2（図29）、販売代理店検索・選定画面C-3、入力内容確認画面C-4、見積・査定内容送信画面C-5、並びに販売代理店地図閲覧画面C-6の各画面を、当該ユーザ端末5に表示することができる。

【0122】

見積請求トップ画面C-1（図28）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、当該ユーザに関する項目（氏名等、既に発行されている場合はユーザID及びパスワード）を入力することにより、車両仕様選定処理（M2）において先に確定した個別仕様車について、販売代理店に対して、見積または下取車両の査定を申し込む（依頼する）ことができる。即ち、当該表示画面においてユーザに関する情報が入力された後、査定申込みに関するラジオボタンにおいて「はい」が選択された場合には、査定申込入力画面C-2が表示され、「いいえ」が選択された場合には、販売代理店検索・選定画面C-3が表示される。

【0123】

査定申込入力画面C-2（図29）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、下取りを希望する自動車（下取車両）についての所定の仕様項目（自動車

メーカー名、車名、排気量、走行距離等)を入力し、「次へ」ボタンが選択されるのに応じて、販売代理店検索・選定画面C-3が表示される。

【0124】

販売代理店検索・選定画面C-3（不図示）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、個別仕様車の見積または下取車両の査定を依頼することを希望する販売代理店をユーザ自身が選択することができる。選択の手順としては、例えば見積請求トップ画面C-1等において先に入力されている当該ユーザの住所に基づいて近隣の販売代理店を自動的に提示する方法や、一覧表示された販売代理店の中から所望の販売代理店を当該ユーザに選択させる方法等が想定される。何れの場合においても、販売代理店検索・選定画面C-3からは、各販売代理店の所在を地図上で確認可能な販売代理店地図閲覧画面C-6に展開可能に構成することにより、ユーザの利便性を考慮すると良い。

【0125】

販売代理店検索・選定画面C-3において個別仕様車の見積または下取車両の査定を依頼する販売代理店が選択されると、当該ユーザのユーザ端末5には、入力内容確認画面C-4が表示される。

【0126】

入力内容確認画面C-4（不図示）：この画面には、車両仕様選定処理（M2）において先に確定した個別仕様車についての各仕様項目（メーカー希望小売価格を含む）の内容、下取車両の査定を選択した場合には査定申込入力画面C-2においてユーザ自身が入力した各項目の内容、並びにそれらの見積・査定を依頼すべく販売代理店検索・選定画面C-3において選択された販売代理店に関する情報等が一覧表示される。ユーザ端末5のユーザは、入力内容確認画面C-4において表示される情報の内容について確認した後、所定の操作によって実際に見積・査定を依頼すると、当該ユーザ端末5には、見積・査定内容送信画面C-5が表示される。

【0127】

見積・査定内容送信画面C-5（不図示）：この画面には、見積・査定依頼が送信され、車両メーカー側サーバ1において受け付けられたことと、当該ユーザに

よって選択された販売代理店から依頼内容に関する電子メールが当該ユーザ宛に届くこと等の情報が表示される。

【 0 1 2 8 】

見積・査定依頼処理（M3）には、見積・査定内容送信画面C-5において見積・査定依頼がユーザ端末5から送信されるのに応じて、電子メールを送受信する機能が含まれる。

【 0 1 2 9 】

ID・パスワード回答メールC-7：当該ユーザからの見積依頼が今回初めてである場合に、そのユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、発行したID・パスワードを含む電子メールが送信される。

【 0 1 3 0 】

見積・査定依頼通知メールC-8：当該ユーザから個別仕様車の見積依頼及び／または下取車両の査定を依頼されたことを、車両メーカー側サーバ1から対象となる販売代理店の販売代理店側サーバ2に通知するための電子メールが送信される。この電子メールには、例えば見積請求トップ画面C-1において入力された当該ユーザを特定可能な情報（住所、氏名、メールアドレス等）と、車両仕様選定処理（M2）にて設定された車両仕様の識別情報（仕様番号）、査定申込入力画面C-2において入力された下取車両の仕様項目等が含まれる。

【 0 1 3 1 】

見積・査定依頼確認メールC-9：当該ユーザから個別仕様車の見積依頼及び／または下取車両の査定を依頼された販売代理店から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、見積依頼・査定依頼がなされたことを確認するために電子メールが送信される。

【 0 1 3 2 】

査定結果回答メールC-10：当該ユーザより下取車両の査定を依頼された販売代理店から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、査定結果を回答するための電子メールが送信される。

【 0 1 3 3 】

見積結果回答メールC-11：当該ユーザより見積依頼された販売代理店から

、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、見積結果を回答するための電子メールが送信される。

【 0 1 3 4 】

図 1.8 は、車両メーカー側サーバ 1 において行われる見積・査定依頼処理（M 3）を示すフローチャートである。

【 0 1 3 5 】

同図において、ステップ S 4 1、ステップ S 4 2：車両仕様選定処理（M 2）の実行中に見積・査定の要求が有るか否かを判断し（ステップ S 4 1：ステップ S 1 7（図 1 7）に対応）、当該要求が無い場合にはステップ S 1 3（図 1 7）に戻り、当該要求が有る場合には、見積請求トップ画面 C - 1（図 2 8）をユーザ端末 5 に表示すると共に、その画面に入力されたユーザ ID やパスワードの妥当性をチェックする（ステップ S 4 2）。

【 0 1 3 6 】

ステップ S 4 3、ステップ S 4 4：査定の要求が有るか否かを判断し（ステップ S 4 3）、当該要求が無い場合にはステップ S 4 5 に進み、当該要求が有る場合には、当該ユーザ端末 5 に査定申込入力画面 C - 2（図 2 9）を表示することによって査定を希望する下取車両の情報を当該ユーザに入力させると共に、販売代理店検索・選定画面 C - 3 を当該ユーザ端末 5 に表示することによって希望する販売代理店をユーザに選択させ、選択された販売代理店には、見積・査定依頼通知メール C - 8 によって入力された情報を送信する（ステップ S 4 4）。

【 0 1 3 7 】

ステップ S 4 5、ステップ S 4 6：個別仕様車についての見積の要求が有るか否かを判断し（ステップ S 4 5）、当該要求が無い場合には処理を終了し、当該要求が有る場合には、車両仕様選定処理（M 2）にて設定された車両仕様の識別情報（仕様番号）を、販売代理店側サーバに送信する（ステップ S 4 6）。

【 0 1 3 8 】

< 見積事項確認処理（M 4） >

図 6 は、見積事項確認処理（M 4）における表示画面の遷移を示す図であり、イニシャル処理（M 1）によって表示されたホーム画面 A - 2 において、「ご購入

入検討一覧」の操作ボタンが操作されるのに応じて起動する。見積事項確認処理（M4）からは、ユーザの操作に応じて、イニシャル処理（M1）、クレジット審査処理（M5）、或いは商談申し込み処理（M6）に遷移することができる。

【0139】

同図に示すように、見積事項確認処理（M4）における表示画面の遷移としては、ID・パスワード入力画面D-1（図30）、購入検討情報一覧画面D-2（図31）、見積事項確認画面D-3（図32）、見積仕様イメージ表示画面D-4、クレジット審査結果表示画面D-5、並びに下取査定結果表示画面D-6の各画面を、当該ユーザ端末5に表示することができる。

【0140】

ID・パスワード入力画面D-1（図30）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、当該ユーザに対して先に発行されているユーザID（会員ID）とパスワードを入力し、「送信」ボタンを操作することによって本システム（車両メーカー側サーバ1）にログインする。ログインが完了すると、当該ユーザ端末には、購入検討情報一覧画面D-2（図31）が表示される。

【0141】

購入検討情報一覧画面D-2（図31）：この画面では、当該ユーザに対して先に行われた見積、査定、並びにクレジット審査について一覧表示が行われ、当該ユーザは、所望の表示項目をクリックする等の操作によって選択することにより、選択した項目の詳細な内容を示す画面が当該ユーザのユーザ端末5に表示される。

【0142】

見積事項確認画面D-3（図32）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、当該ユーザに対して先に行われた見積の詳細内容を確認することができ、「ご商談申込み」ボタンが操作されたときには商談申し込み処理（M6）に遷移することができ、「クレジットご検討」ボタンが操作されたときにはクレジット審査処理（M5）に遷移することができ、「見積仕様イメージ確認」ボタンが操作されたときには現在表示されている個別仕様車の見積仕様に対応する自動車の画像を、見積仕様イメージ表示画面D-4（不図示）において確認することがで

きる。そして、「ご購入検討一覧に戻る」の操作ボタンが操作されたときには、購入検討情報一覧画面D-2（図31）に遷移することができる。

【0143】

図19は、車両メーカー側サーバ1において行われる見積事項確認処理（M4）を示すフローチャートである。

【0144】

同図において、ステップS51、ステップS52：イニシャル処理（M1）の実行中に見積事項の照会について要求が有るか否かを判断し（ステップS51：ステップS12（図17）に対応）、当該要求が無い場合にはステップS12（図17）に戻り、当該要求が有る場合には、ID・パスワード入力画面D-1（図30）をユーザ端末5に表示すると共に、その画面に入力されたユーザIDやパスワードの妥当性をチェックする（ステップS52）。

【0145】

ステップS53、ステップS54：販売代理店側サーバ2との通信処理を行う（ステップS53）と共に、販売代理店側サーバ2において当該ユーザIDに関する見積情報の更新が行われたか否かを問合せ（ステップS54）。ここで、ステップS53における通信処理は、後述する販売代理店側サーバ2の制御処理（図20）のステップS211とリンクする処理である。

【0146】

ステップS55：販売代理店側サーバ2に格納されている当該ユーザIDに関する見積情報を取得すると共に、取得した見積情報を、購入検討情報一覧画面D-2（図31）またはその画面における操作に応じて、見積事項確認画面D-3（図32）によって当該ユーザのユーザ端末5に表示する。

【0147】

ステップS56：販売代理店側サーバ2に格納されている当該ユーザIDに関する更新された見積情報を、更新されたことをユーザが識別可能に、購入検討情報一覧画面D-2（図31）またはその画面における操作に応じて、見積事項確認画面D-3（図32）によって当該ユーザのユーザ端末5に表示する。

【0148】

ステップ S 5 7, ステップ S 5 8 : 仕様確定した個別仕様車についてのクレジット審査の申込み要求が有るか否かを判断し (ステップ S 5 7 : ステップ S 1 7 (図 1 7) に相当)、当該要求が有る場合にはステップ S 1 8 (図 1 7) に進み、当該要求が無い場合にはステップ S 5 8 に進む。

【 0 1 4 9 】

更に、仕様確定した個別仕様車についての商談の申込み要求が有るか否かを判断し (ステップ S 5 8 : ステップ S 1 9 (図 1 7) に相当)、当該要求が有る場合にはステップ S 2 0 (図 1 7) に進み、当該要求が無い場合にはステップ S 5 8 に進む。

【 0 1 5 0 】

< クレジット審査処理 (M 5) ・ 商談申し込み処理 (M 6) >

図 7 は、クレジット審査処理 (M 5) 及び商談申し込み処理 (M 6) における表示画面の遷移と、クレジット審査及び商談申し込みに伴う電子メールの送信機能とを示す図であり、クレジット審査処理 (M 5) は、見積事項確認処理 (M 4) によって表示された見積事項確認画面 D-3 (図 3 2) において、「クレジットご検討」ボタンが操作されるのに応じて起動し、商談申し込み処理 (M 6) は、見積事項確認画面 D-3 (図 3 2) において、「ご商談申込み」ボタンが操作されるのに応じて起動する。クレジット審査処理 (M 5) 及び商談申し込み処理 (M 6) からは、見積事項確認処理 (M 4) に遷移することができる。

【 0 1 5 1 】

同図に示すように、クレジット審査処理 (M 5) における表示画面の遷移としては、借入条件入力画面 E-1 (図 3 3)、返済計画表示画面 E-2 (図 3 4)、クレジット審査入力画面 E-3、クレジット申込み内容送信画面 E-4 の各画面を、当該ユーザ端末 5 に表示することができる。

【 0 1 5 2 】

借入条件入力画面 E-1 (図 3 3) : この画面において、ユーザ端末 5 のユーザは、見積事項確認処理 (M 4) において選択した見積項目において提示された個別仕様車を分割払いのローンで購入する場合について、利用するクレジットに関する各種項目を入力することができ、所定項目の入力後に、「計算実行」ボタ

ンが操作されるのに応じて、ユーザ端末5には、返済計画表示画面E-2（図34）が表示される。

【0153】

返済計画表示画面E-2（図34）：この画面には、借入条件入力画面E-1にて設定された項目に基づくクレジットの計算結果（返済計画）が一覧表示される。この画面において「クレジット審査申込」ボタンが操作されるのに応じて、ユーザ端末5には、クレジット審査入力画面E-3が表示される。

【0154】

クレジット審査入力画面E-3（不図示）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、返済計画表示画面E-2において表示された返済計画に基づくクレジット審査を、信販会社に申し込むことができる。

【0155】

クレジット申込み内容送信画面E-4（不図示）：この画面には、クレジット審査が送信され、車両メーカー側サーバ1において受け付けられたことと、審査結果に関する電子メールが当該ユーザ宛に届くこと等の情報が表示される。

【0156】

見積事項確認処理（M4）には、クレジット申込み内容送信画面E-4においてクレジット審査の申込み情報がユーザ端末5から送信されるのに応じて、電子メールを送受信する機能が含まれる。

【0157】

クレジット審査依頼確認メールE-5：当該ユーザからクレジット審査を依頼された車両メーカー側サーバ1から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、クレジット審査依頼がなされたことを確認するために電子メールが送信される。

【0158】

クレジット審査依頼通知メールE-6：当該ユーザからクレジット審査が依頼されたことを、車両メーカー側サーバ1から対象となる信販会社に通知するための電子メールが送信される。この電子メールには、返済計画表示画面E-2において表示された返済計画の内容、並びにユーザに関する情報等が含まれる。

【0159】

クレジット審査結果回答メールE-7：クレジット審査を行った信販会社から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスと車両メーカー側サーバ1とに対して、審査結果を回答するための電子メールが送信される。

【0160】

次に、図7に示す商談申し込み処理（M6）における表示画面の遷移としては、商談申し込み入力画面F-1（図35）、商談申し込み内容送信画面F-2の各画面を、当該ユーザ端末5に表示することができる。

【0161】

商談申し込み入力画面F-1（図35）：この画面において、ユーザ端末5のユーザは、見積事項確認処理（M4）において選択した見積項目において提示された個別仕様車について、その個別仕様車について見積価格を提示した販売代理店に対する商談申し込みに関する各種項目（下取り車両の有無、クレジット利用の有無、商談希望日等）を入力することができ、所定項目の入力後に、「商談申込」ボタンが操作されるのに応じて、ユーザ端末5には、商談申し込み内容送信画面F-2が表示される。

【0162】

商談申し込み内容送信画面F-2（不図示）：この画面には、商談申し込み入力画面F-1における申込み内容が送信され、車両メーカー側サーバ1において受け付けられたことと、商談に関する電子メール或いは電話等による連絡が、対応する販売代理店からなされる旨の情報が表示される。

【0163】

商談申し込み処理（M6）には、商談申し込み内容送信画面F-2において商談申し込み情報がユーザ端末5から送信されるのに応じて、電子メールを送受信する機能が含まれる。

【0164】

商談依頼確認メールF-3：当該ユーザから商談を依頼された車両メーカー側サーバ1から、当該ユーザが先に入力しているメールアドレスに対して、商談を依頼がなされたことを確認するために電子メールが送信される。

【0165】

商談依頼通知メールF-4：当該ユーザから商談を依頼されたことを、車両メーカー側サーバ1から対象となる販売代理店に通知するための電子メールが送信される。この電子メールには、商談申し込み入力画面F-1において表示された内容、並びにユーザに関する情報等が含まれる。

【0166】

本実施形態において、販売代理店における商談後に、自動車メーカーに対して実際に個別仕様車を発注する方法としては、販売代理店側サーバ2から車両メーカー側サーバ1に対して行う方法や、専用回線によって別途発注を行う方法等が想定される。

【0167】

<納期照会処理(M7)・インストラクション処理(M8)>

図8は、納期照会処理(M7)及びインストラクション処理(M8)における表示画面の遷移と、納期照会に伴う電子メールの送信機能とを示す図である。

【0168】

納期照会処理(M7)は、イニシャル処理(M1)によって表示されたホーム画面A-2において、「ご購入車両納期照会」の操作ボタンが操作されるのに応じて起動する。また、インストラクション処理(M8)は、ホーム画面A-2において、「このサイトについて」、「ご購入手順」、「プライバシーポリシー」等の操作ボタンが操作されるのに応じて起動する。納期照会処理(M7)とインストラクション処理(M8)とからは、ユーザの操作に応じて、イニシャル処理(M1)に遷移することができる。

【0169】

同図に示す納期照会処理(M7)では、ID・パスワード入力画面G-1(図30に同じ)、納期ステータス照会画面G-2(図22)の各画面を、当該ユーザ端末5に表示できると共に、納期ステータス報告メールG-3を、該当するユーザ端末5宛に送信する。

【0170】

ID・パスワード入力画面D-1(図30)：この画面において、ユーザ端末

5 のユーザは、当該ユーザに対して先に発行されているユーザ I D（会員 I D）とパスワードを入力し、「送信」ボタンを操作することによって本システム（車両メーカー側サーバ 1）にログインする。ログインが完了すると、当該ユーザ端末には、納期ステータス照会画面 G - 2（図 2 2）が表示される。

【 0 1 7 1 】

図 2 2 は、納期照会処理（M 7）により表示される納期ステータス照会画面 G - 2 を例示する図であり、この表示画面において、当該ユーザは、納車を待っている個別仕様車に関して、生産から納車までの複数段階における進捗状況を知ることができる。

【 0 1 7 2 】

即ち、納期ステータス照会画面 G - 2 には、ユーザ、個別仕様車、並びに販売代理店を特定する情報が表示されると共に、図 2 2 に示すように、当該個別仕様車についての生産から納車までの複数段階における進捗状況が、現在の状況を表わすグラフィックと、各段階を表わす画像（撮影画像）とによって提示される。また、既に完了した段階には、完了日が表示される。

【 0 1 7 3 】

また、図 2 2 に示す各段階において、左から 2 番目の生産ラインにおける写真画像をユーザがクリックしたときには、更に、当該個別仕様車の生産ラインにおける組立中の撮影画像（例えば、基幹部材の組み付け工程、塗装工程、試験工程等の複数工程におけるビデオ画像または写真画像）がユーザ端末 5 に表示される。

【 0 1 7 4 】

また、図 2 2 に示す各段階において、左から 3 番目或いは 5 番目の写真をユーザがクリックしたときには、更に、当該個別仕様車の搬送船や搬送車（カーキャリアー）による搬送時の輸送経路及び／または現在位置を表わす地図画像がユーザ端末 5 に表示される。

【 0 1 7 5 】

上述した図 2 2 の納期ステータス照会画面 G - 2 に表示される情報は、車両メーカー側サーバ 1 が進捗管理 D B 3 2 を参照することによって取得することができる。

る。

【0176】

より具体的には、上述した各処理によって個別仕様車の車種IDが決定され、その車種IDの個別仕様車の発注がオンラインまたはオフラインで行われると、その個別仕様車に対する発注番号（オーダID）が発行されるので、組み立てライン（生産ライン）13において当該個別仕様車が生産される際には、発注番号を利用することにより、当該組み立てラインを流れる組立中の当該個別仕様車の特定及び追跡は、容易且つ自動的に行うことができる。

【0177】

そこで、当該自動車メーカーの組み立てライン13では、図1に示したように、組み付け工程、塗装工程、試験工程等に撮影装置14を設けておき、当該個別仕様車が流れてきたときたときに撮影した画像は、撮影した日時の情報と共に、当該個別仕様車の発注番号（オーダID）をキーとして、進捗管理DB32に格納されるように構成すれば良い。

【0178】

また、搬送時の輸送経路及び／または現在位置は、図1に示したように、搬送車11に搭載されたGPS通信モジュール12等を利用すれば、搬送車11の座標位置情報は容易に取得することができるので、取得した座標位置情報は、当該個別仕様車の発注番号（オーダID）をキーとして、進捗管理DB32に格納されるように構成すれば良い。

【0179】

更に、自動車メーカーに対して個別仕様車の発注が行われ、実際の生産計画が管理用コンピュータ等において決定されると、その生産計画や使用される組み立てライン（生産ライン）の生産能力（タクト）等に基づいて、各工程を対象としている個別仕様車が流れる予定期日（日時）は自動的に容易に算出することができるので、算出された予定期日（日時）を電子メールによって当該ユーザに報知しておき、その予定期日に納期ステータス照会画面G-2（図22）にアクセスした当該ユーザには、実際に組立中の当該個別仕様車の状況を、リアルタイムで提供しても良い。

【0180】

図21は、車両メーカー側サーバ1において行われる納期照会処理(M7)を示すフローチャートである。

【0181】

同図において、ステップS101、ステップS102：イニシャル処理(M1)の実行中に納期ステータスの照会について要求が有るか否かを判断し(ステップS101：ステップS12(図17)に対応)、当該要求が無い場合にはステップS12(図17)に戻り、当該要求が有る場合には、ID・パスワード入力画面D-1(図30に同じ)をユーザ端末5に表示すると共に、その画面に入力されたユーザIDやパスワードの妥当性をチェックする(ステップS102)。

【0182】

ステップS103、ステップS104：当該ID/パスワードに対応する個別仕様車について、進捗管理DB32に格納されている納期/ステータス等の情報(製造工程における画像を含む)を読み出し(ステップS103)、読み出した情報を含む納期ステータス照会画面G-2(図22)に対応するユーザ端末5に表示する(ステップS104)。

【0183】

ステップS105、ステップS106：進捗管理DB32に確定納期/納期変更に関する情報が含まれるかを判断し(ステップS105)、当該情報が含まれない場合にはステップS107に進み、当該情報が含まれる場合には、その確定納期/納期変更に関する情報を含む電子メールを、発信元を販売代理店として、該当するユーザに送信する(ステップS106)。ここで、確定納期/納期変更に関する情報には、予定納期が遅れる場合も、早まる場合も含まれる。

【0184】

ステップS107、ステップS108：ユーザ端末5から地図を含む進捗表示の要求が行われたか否かを判断し(ステップS107)、当該要求が行われた場合にはステップS109に進み、当該要求が行われなかった場合には、該当するユーザ端末5に納期変更が無い旨の電子メールを、発信元を販売代理店として、該当するユーザに送信する(ステップS108)。

【 0 1 8 5 】

ステップ S 1 0 9 ～ステップ S 1 1 1 : 当該ユーザ端末 5 が地図情報を保有または外部より取得可能な端末であるか否かを判断し (ステップ S 1 0 9) 、地図情報を保有している場合には、進捗管理 DB 3 2 に格納されている運送中の完成車両の現在位置情報を取得し (ステップ S 1 1 0) 、地図情報を保有していない場合には、運送中の完成車両の現在位置周辺の地図画像を取得すると共に、その地図画像に当該現在位置をプロットした画像を生成する (ステップ S 1 1 1) 。

【 0 1 8 6 】

ステップ S 1 1 2 : 現在位置情報または現在位置周辺の地図画像を添付した電子メールを、発信元を販売代理店として、該当するユーザに送信する。

【 0 1 8 7 】

上述した納期照会処理 (M 7) によれば、ユーザは、自分が購入した個別仕様車 (特定車両) の納車までの各段階を、所有するコンピュータ等のユーザ端末 5 において容易に把握することができ、納車を待つユーザの期待感を充足させることができる。

【 0 1 8 8 】

また、図 8 に示すインストラクション処理 (M 8) では、個別仕様車見積・発注システムの説明 H - 1 、購入プロセスの説明 H - 2 、問合せ・ F A Q の説明 H - 3 、並びにプライバシーポリシーの説明 H - 4 の各画面がユーザ端末 5 に表示される。これらの説明 (説明画面 : 何れも不図示) は、例えば車両メーカー側サーバ 1 の記憶装置 2 6 に予め登録しておけば良い。

【 0 1 8 9 】

【販売代理店側サーバ 2 にて実行されるソフトウェア】

次に、販売代理店側サーバ 2 の CPU 2 1 により実行されるソフトウェアについて説明する。

【 0 1 9 0 】

図 2 0 は、本実施形態において販売代理店側サーバ 2 が実行する制御処理を示すフローチャートである。

【 0 1 9 1 】

同図において、ステップS201、ステップS202、ステップS204：見積価格DB35に各仕様項目毎に格納された見積価格についての変更或いは更新の要求が有るか否かを判断し（ステップS201）、当該要求が無い場合にはステップS209に進み、当該要求が有る場合には、当該販売代理店の所定のユーザであるかをIDやパスワードによって判断する（ステップS202）。ステップS202の判断において所定のユーザであると判断されたときには販売代理店側サーバ2へのログインを認めてステップS203に進み、所定のユーザではないと判断されたときにはその旨を警告し（ステップS204）、販売代理店側サーバ2へのログインは認めない。

【0192】

ステップS203、ステップS205：見積価格DB35に現在登録されている当該販売代理店に関する見積価格を一括表示し（ステップS203）、表示された画面における入力操作に応じて、見積価格DB35の登録内容を更新する（ステップS205）。

【0193】

ステップS206、ステップS207：個別仕様車の見積依頼を既に受けたことがあり、その個別仕様車の見積金額を既に提示したことのあるユーザに関して、その見積金額に変更が発生するか否かを、見積価格DB35の更新履歴を参照することによって判断し（ステップS206）、変更が発生しない場合にはステップS209に進み、変更が発生する場合には、当該個別仕様車1台当たりの見積金額の再計算を行う（ステップS207）。

【0194】

ステップS208：個別仕様車の見積金額に変更が発生したこと、並びに変更後の金額を、電子メール（見積結果回答メールC-11）にて該当するユーザ端末に送信する。これにより、選定された所望仕様の商品の見積価格を、人手を介さずに当該ユーザに効率的に提供することができ、当該商品の提供価格の低減にも寄与することができる。

【0195】

ステップS209、ステップS210：車両メーカー側サーバ1からの見積・査

定依頼確認メールC-9により、見積及び／または査定依頼が当該販売代理店に要求されたか否かを判断し（ステップS209）、当該要求が無い場合にはステップS211に進み、当該要求が有る場合には、当該メールにより取得した個別仕様を表わす識別情報（仕様番号）に従って、見積価格DB35を参照しながら、個別仕様車1台当たりの見積金額を計算する（ステップS210）。また、ステップS209では、見積・査定依頼確認メールC-9に査定依頼が含まれていた場合、そのメールによって取得した下取車両の仕様項目に従って、その下取車両の査定を行う。この査定は、当該販売代理店の従業員が実際に下取車両を確認して従来通り行っても、予め中古車の相場が設定されているデータベース等を参照することによって自動的に行っても良い。

【0196】

ステップS211：車両メーカー側サーバ1との通信処理を行うことにより、車両メーカー側サーバ1からは、見積価格DB35に対して、メーカー小売価格DB31に格納されている本システムにて選定可能な仕様項目の更新（イコライズ）を受けると共に、販売代理店側サーバ2から車両メーカー側サーバ1には、対象となる顧客（ユーザ端末5のユーザ）についての見積価格を、ステップS205にて見積価格が更新された場合、或いは購入検討情報一覧画面D-2（図31）または見積事項確認画面D-3（図32）をユーザ端末5に表示すべく、上述した図19のステップS55の処理に応じて車両メーカー側サーバ1より要求された場合に送信する。

【0197】

上述した本実施形態によれば、自動車メーカーが供給可能な個別仕様車の仕様項目の中から、所望の仕様を、ユーザ自身がゲーム感覚で容易且つ楽しく、インタラクティブに選定可能にすることができ、自動車の購入に際して新たなエンターテインメント性を見いだすことができる。

【0198】

また、選定された所望仕様の個別仕様車の見積価格を、当該ユーザに効率的に提供することができ、生産台数が少ない個別の仕様車（特定車両）であるにも関わらず比較的安価な価格でユーザに提供することができると共に、販売代理店及び

自動車メーカーにとっては、業務の効率化を図ることができる。

【 0 1 9 9 】

尚、上述した本実施形態では、仕様選定及び発注を行う商品として自動車を例に挙げて説明したが、本発明は自動車等の車両に限られるものではなく、量産可能であって複数種類の仕様或いはオプション装備を設定可能な工業製品（例えば、電気製品やプレハブ住宅等）に広く適用して好適である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態における個別仕様車見積・発注システムの全体構成を示す概念図である。

【図 2】

本実施形態における車両メーカー側サーバ 1、販売代理店側サーバ 2、及びユーザ端末 5 の内部構成を例示するブロック図である。

【図 3】

本実施形態に係る個別仕様車見積・発注システムにおいて実行される処理モジュールの機能体系を示す図である。

【図 4】

イニシャル処理（M 1）と車両仕様選定処理（M 2）における表示画面の遷移を示す図である。

【図 5】

見積・査定依頼処理（M 3）における表示画面の遷移と、見積・査定の依頼に伴う電子メールの送信機能を示す図である。

【図 6】

見積事項確認処理（M 4）における表示画面の遷移を示す図である。

【図 7】

クレジット審査処理（M 5）及び商談申し込み処理（M 6）とにおける表示画面の遷移と、クレジット審査及び商談申し込みに伴う電子メールの送信機能とを示す図である。

【図 8】

納期照会処理（M7）及びインストラクション処理（M8）における表示画面の遷移と、納期照会に伴う電子メールの送信機能とを示す図である。

【図 9】

車両仕様選定処理（M2）において車種 A（スポーツタイプ）のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 10】

車両仕様選定処理（M2）において車種 A（スポーツタイプ）のインテリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 11】

車両仕様選定処理（M2）において車種 A（スポーツタイプ）のオーディオを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 12】

車両仕様選定処理（M2）において車種 B（ワゴンタイプ）のメカニズムを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 13】

車両仕様選定処理（M2）において車種 B（ワゴンタイプ）のインテリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 14】

車両仕様選定処理（M2）において車種 B（ワゴンタイプ）のエクステリアを選定するために参照される選択肢の制約を示す系統図である。

【図 15】

本実施形態において、車両メーカー側サーバ 1 のサービスを受けるユーザ端末 5 が実行するソフトウェアのフローチャートである。

【図 16】

本実施形態において車両メーカー側サーバ 1 が実行する各処理モジュールに共通のウィンドウ画面表示処理を示すフローチャートである。

【図 17】

本実施形態において車両メーカー側サーバ 1 が実行する処理の全体概要を示すフローチャートである。

【図 18】

車両メーカー側サーバ 1 において行われる見積・査定依頼処理 (M3) を示すフローチャートである。

【図 19】

車両メーカー側サーバ 1 において行われる見積事項確認処理 (M4) を示すフローチャートである。

【図 20】

本実施形態において販売代理店側サーバ 2 が実行する制御処理を示すフローチャートである。

【図 21】

車両メーカー側サーバ 1 において行われる納期照会処理 (M7) を示すフローチャートである。

【図 22】

本実施形態における納期ステータス照会画面 G-2 を例示する図である。

【図 23】

本実施形態におけるホームページ画面であるトップ画面 A-1 を例示する図である。

【図 24】

本実施形態におけるホーム画面 A-2 を例示する図である。

【図 25】

車両仕様選定処理 (M2) が表示する車両仕様選定画面 (B-1 乃至 B-15) のフォーマットを例示する図である。

【図 26】

図 25 に示す「明細」ボタンが操作された場合に表示されるメーカー希望小売価格の明細画面を例示する図である。

【図 27】

車両仕様選定処理 (M2) が表示する選定仕様表示画面 B-15 を例示する図である。

【図 28】

本実施形態における見積請求トップ画面 C - 1 を例示する図である。

【図 2 9】

本実施形態における査定申込入力画面 C - 2 を例示する図である。

【図 3 0】

本実施形態における I D ・ パスワード入力画面 D - 1 を例示する図である。

【図 3 1】

本実施形態における購入検討情報一覧画面 D - 2 を例示する図である。

【図 3 2】

本実施形態における見積事項確認画面 D - 3 を例示する図である。

【図 3 3】

本実施形態における借入条件入力画面 E - 1 を例示する図である。

【図 3 4】

本実施形態における返済計画表示画面 E - 2 を例示する図である。

【図 3 5】

本実施形態における商談申し込み入力画面 F - 1 を例示する図である。

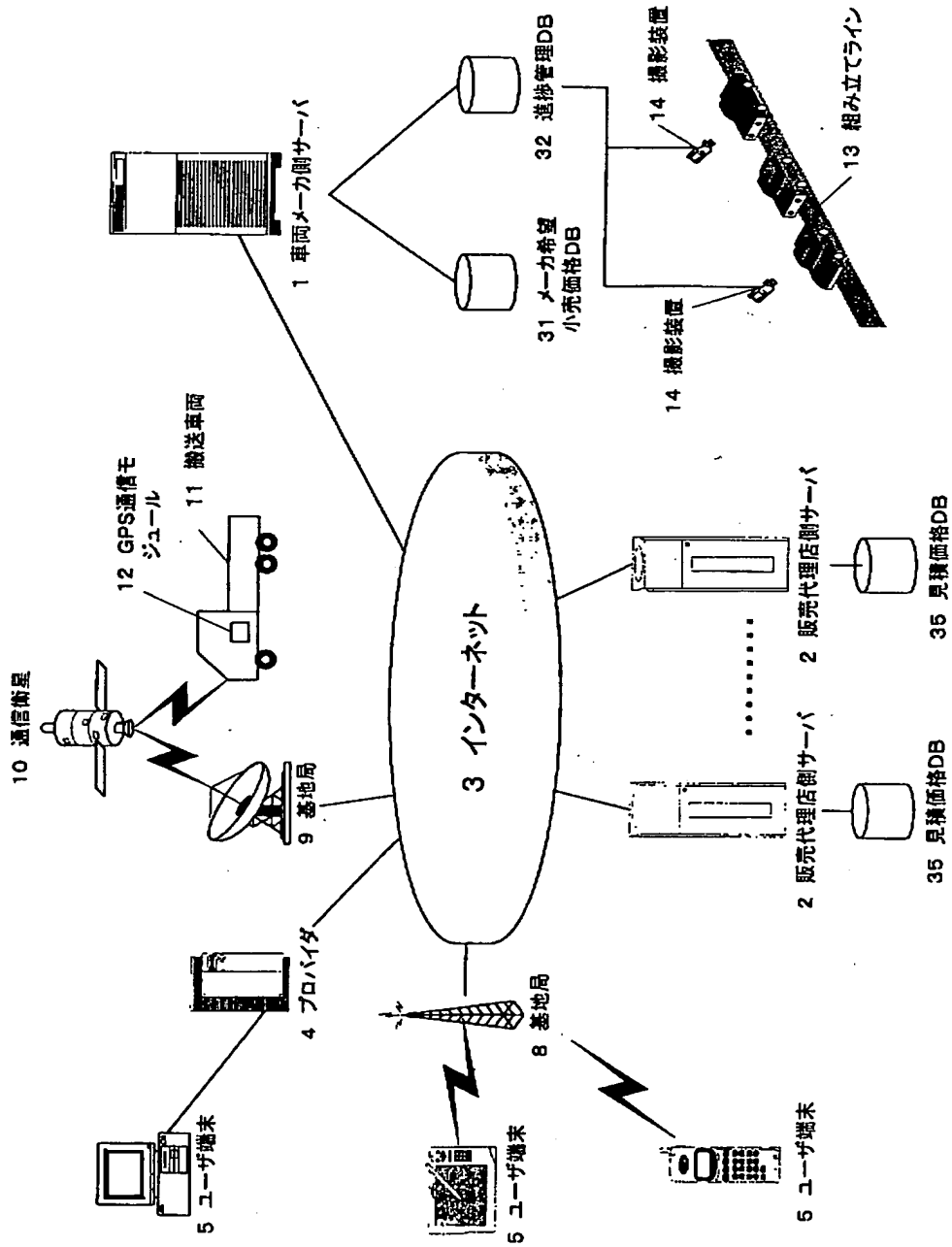
【符号の説明】

- 1 : 車両メーカー側サーバ,
- 2 : 販売代理店側サーバ,
- 3 : インターネット,
- 4 : プロバイダ,
- 5 ~ 7 : ユーザ端末,
- 8, 9 : 基地局,
- 10 : 通信衛星,
- 11 : 搬送車両,
- 12 : G P S 通信モジュール,
- 13 : 組み立てライン,
- 14 : 撮影装置,
- 21 : C P U,
- 22 : ディスプレイ,

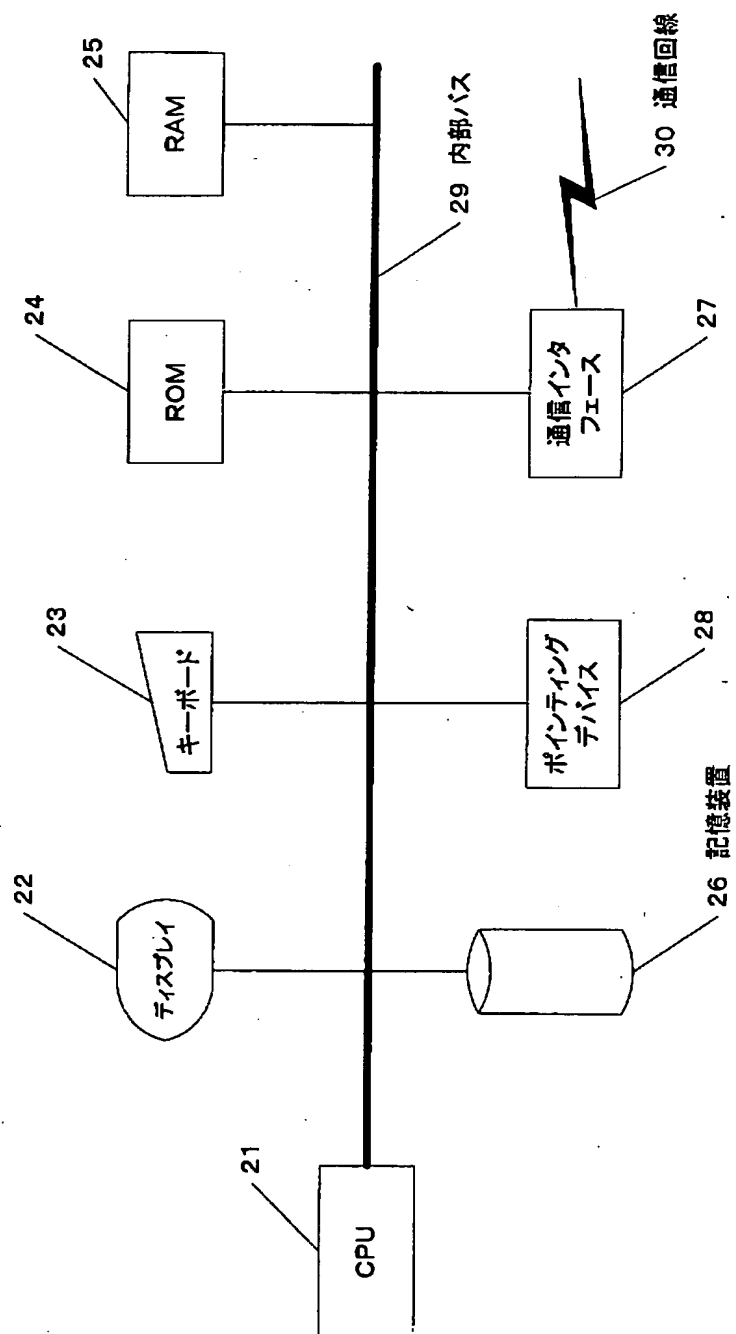
- 2 3 : キーボード,
- 2 4 : R O M,
- 2 5 : R A M,
- 2 6 : 記憶装置,
- 2 7 : 通信インタフェース,
- 2 8 : ポインティング・デバイス,
- 2 9 : 内部バス,
- 3 0 : 通信回線,
- 3 1 : メーカー希望小売価格 D B,
- 3 2 : 製造進捗管理 D B,
- 3 5 : 見積価格 D B,

【書類名】 図面

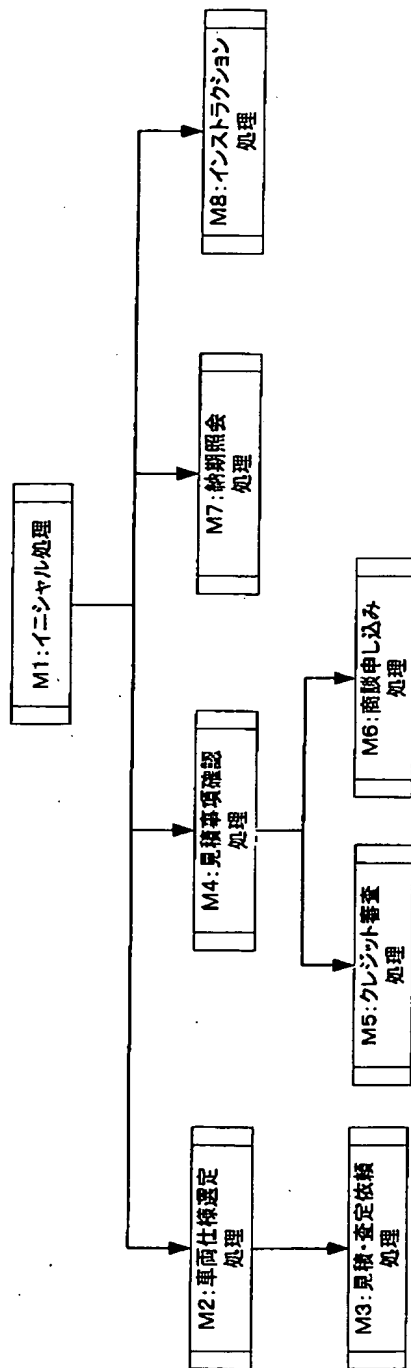
【図 1】



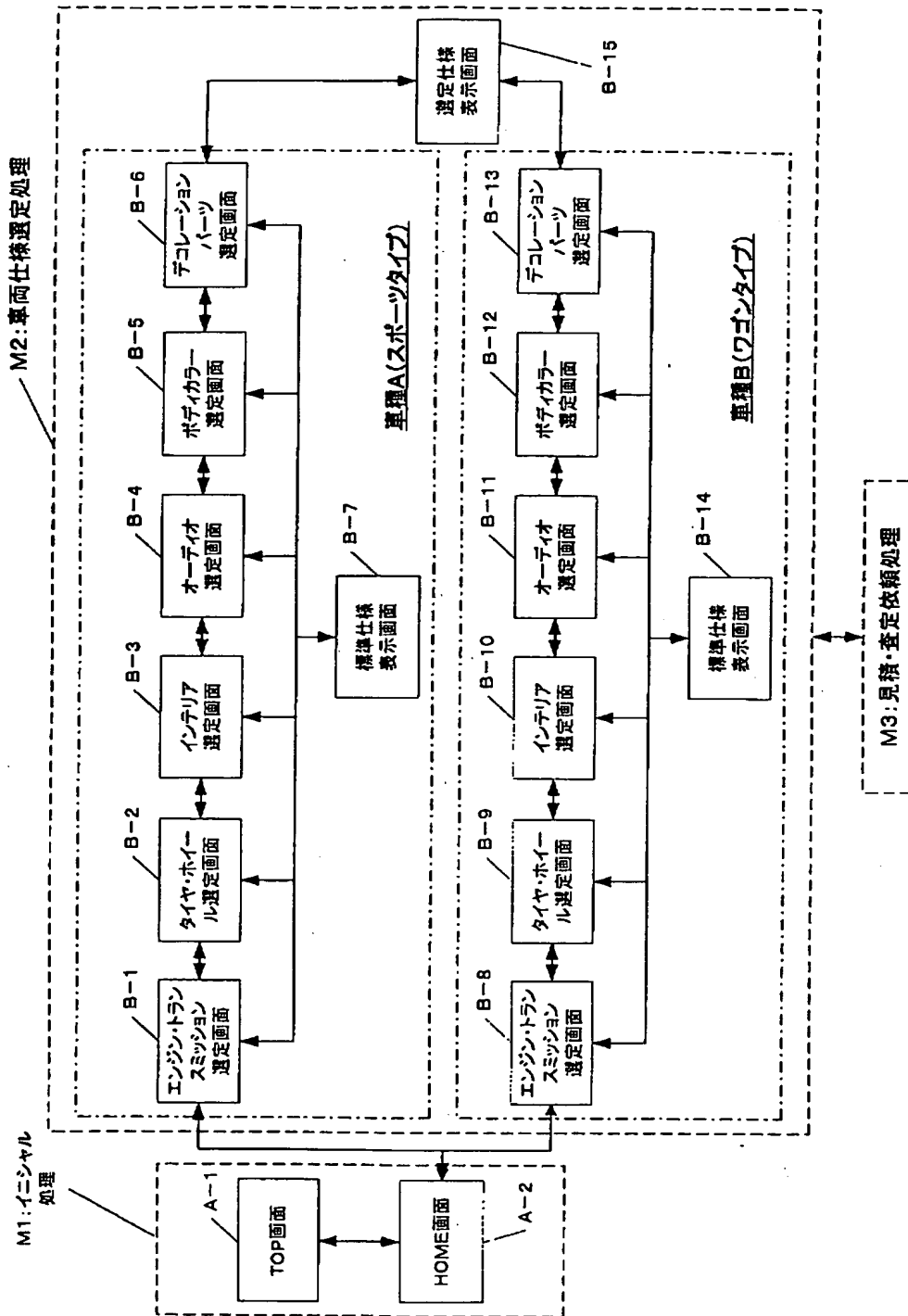
【図 2】



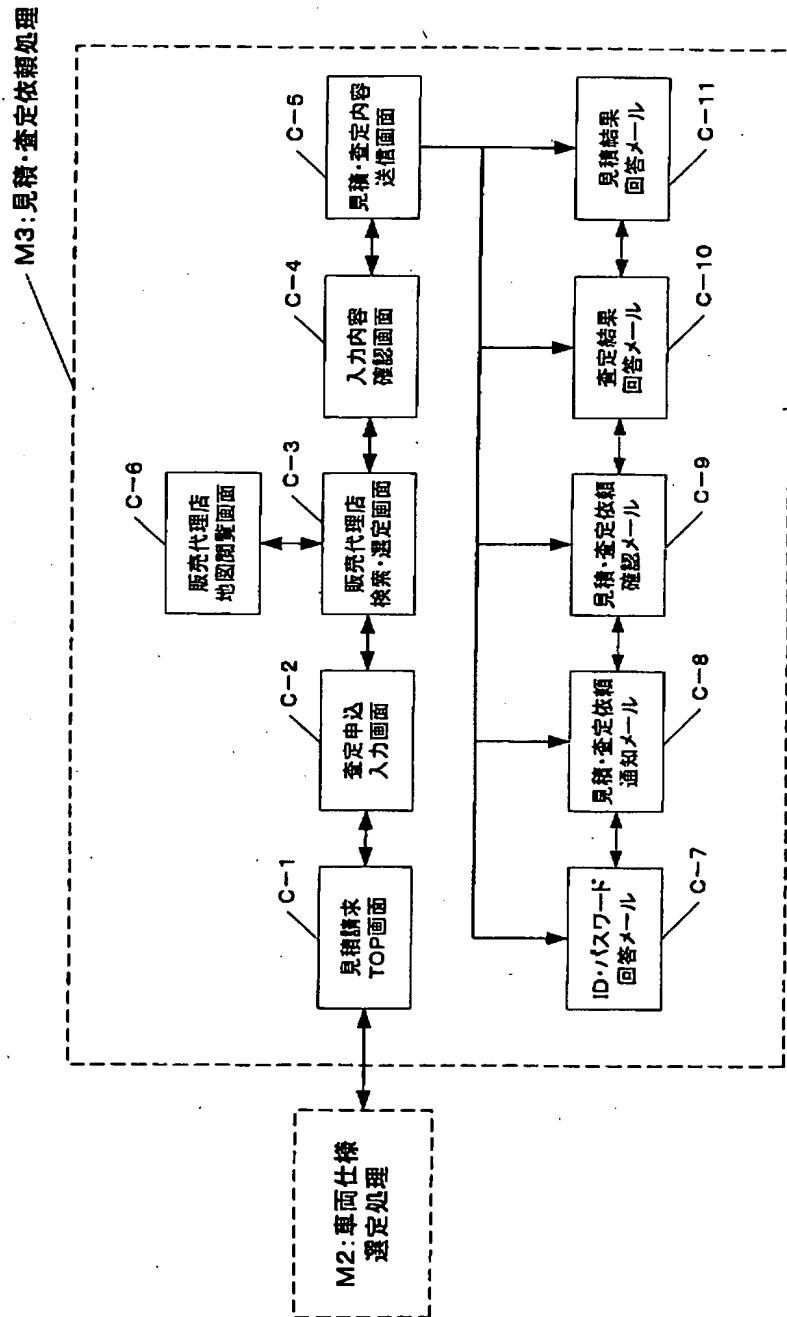
【図 3】



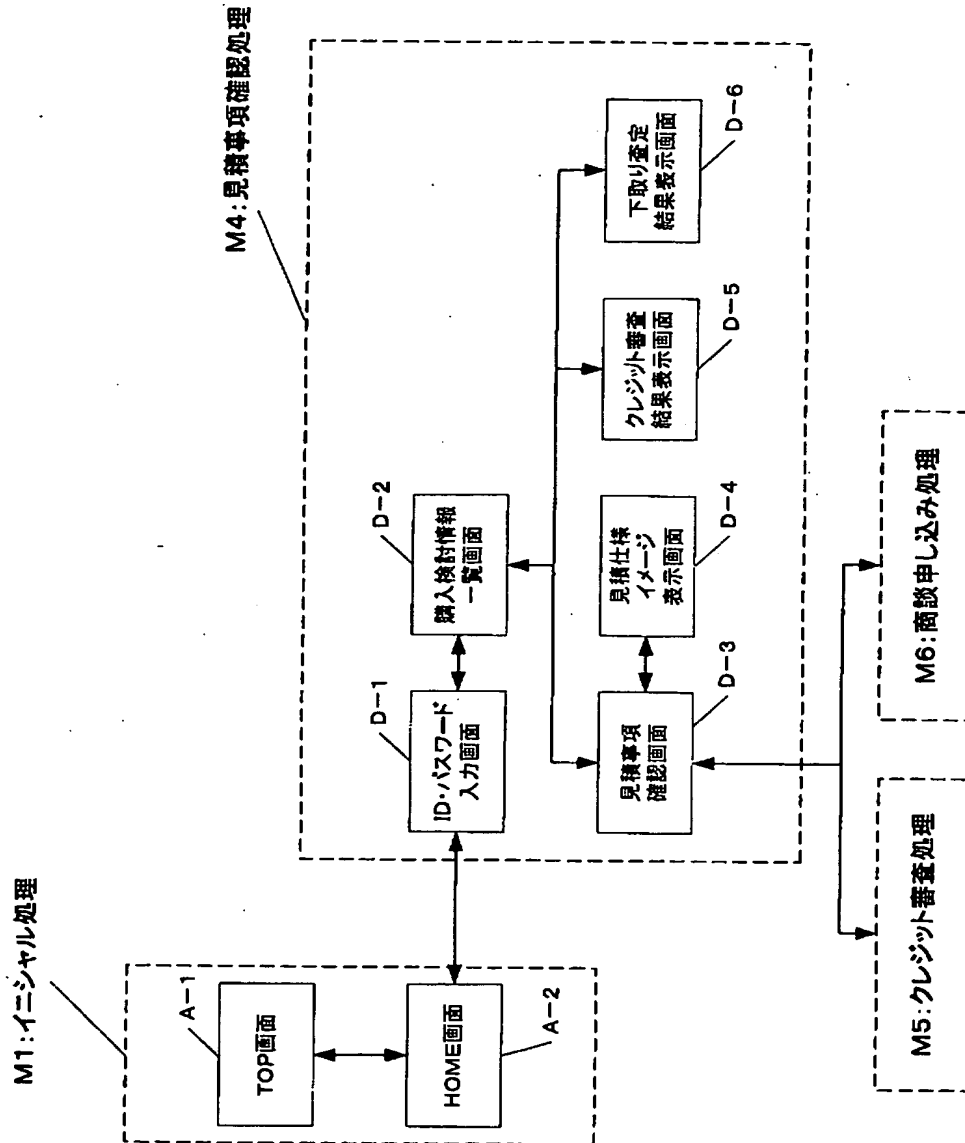
【図4】



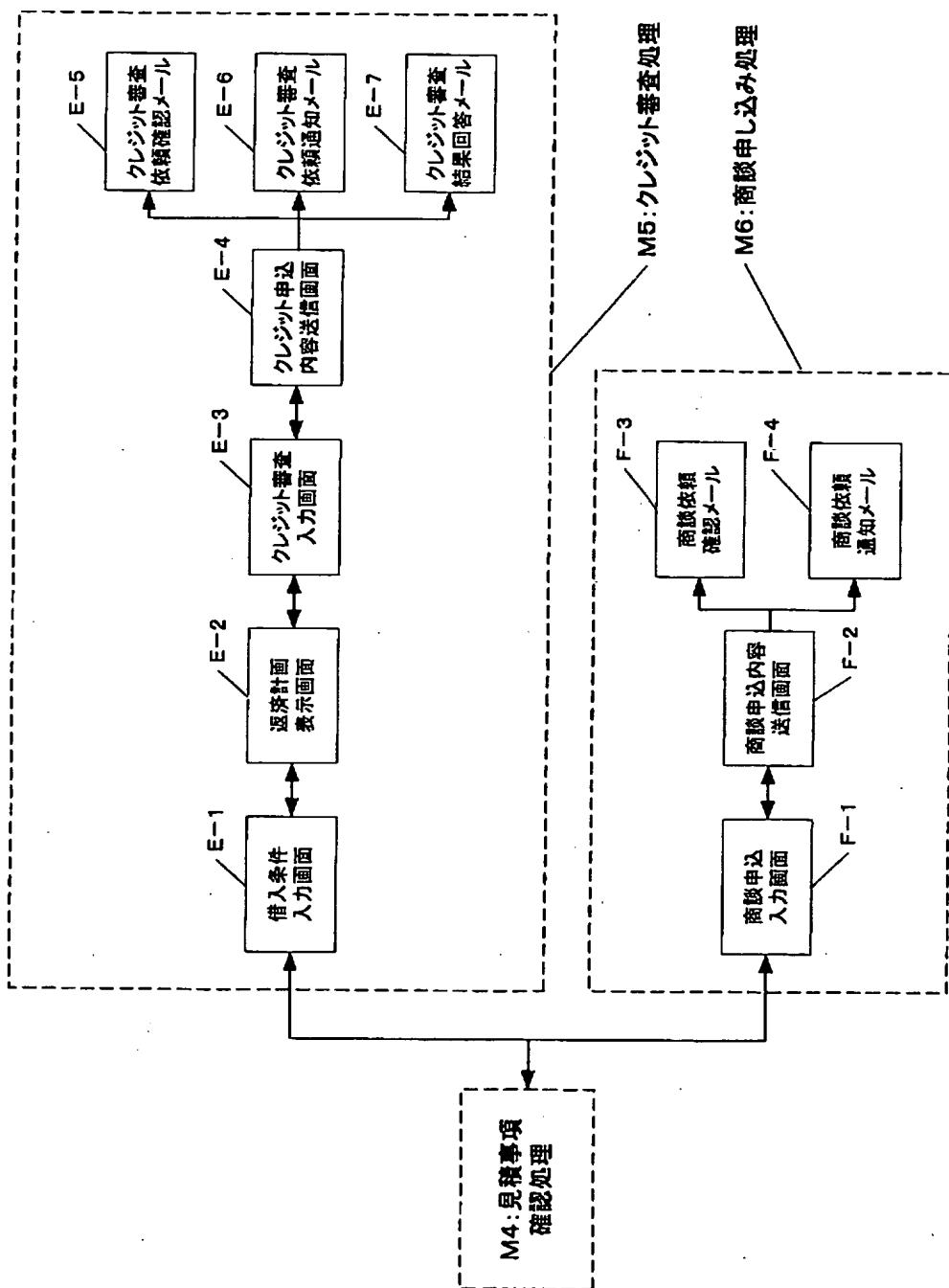
【図 5】



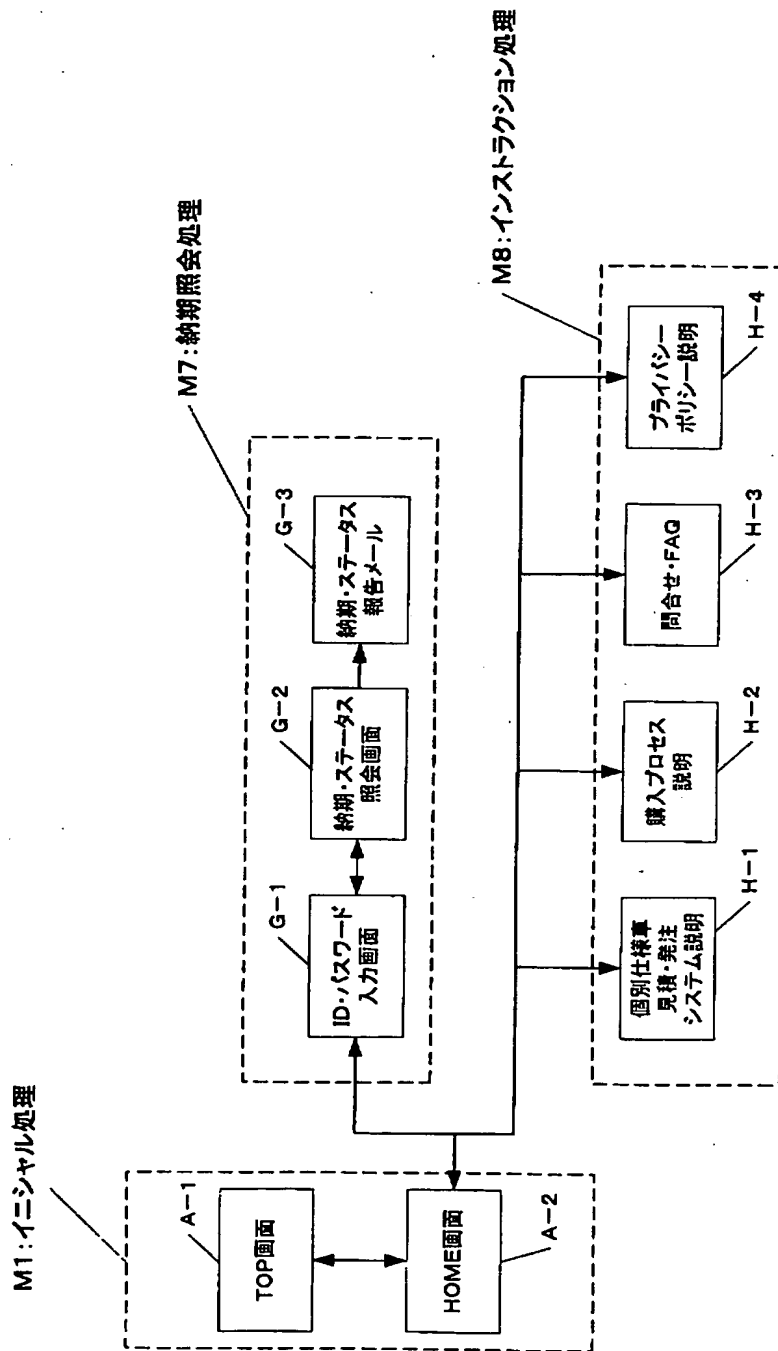
【図 6】



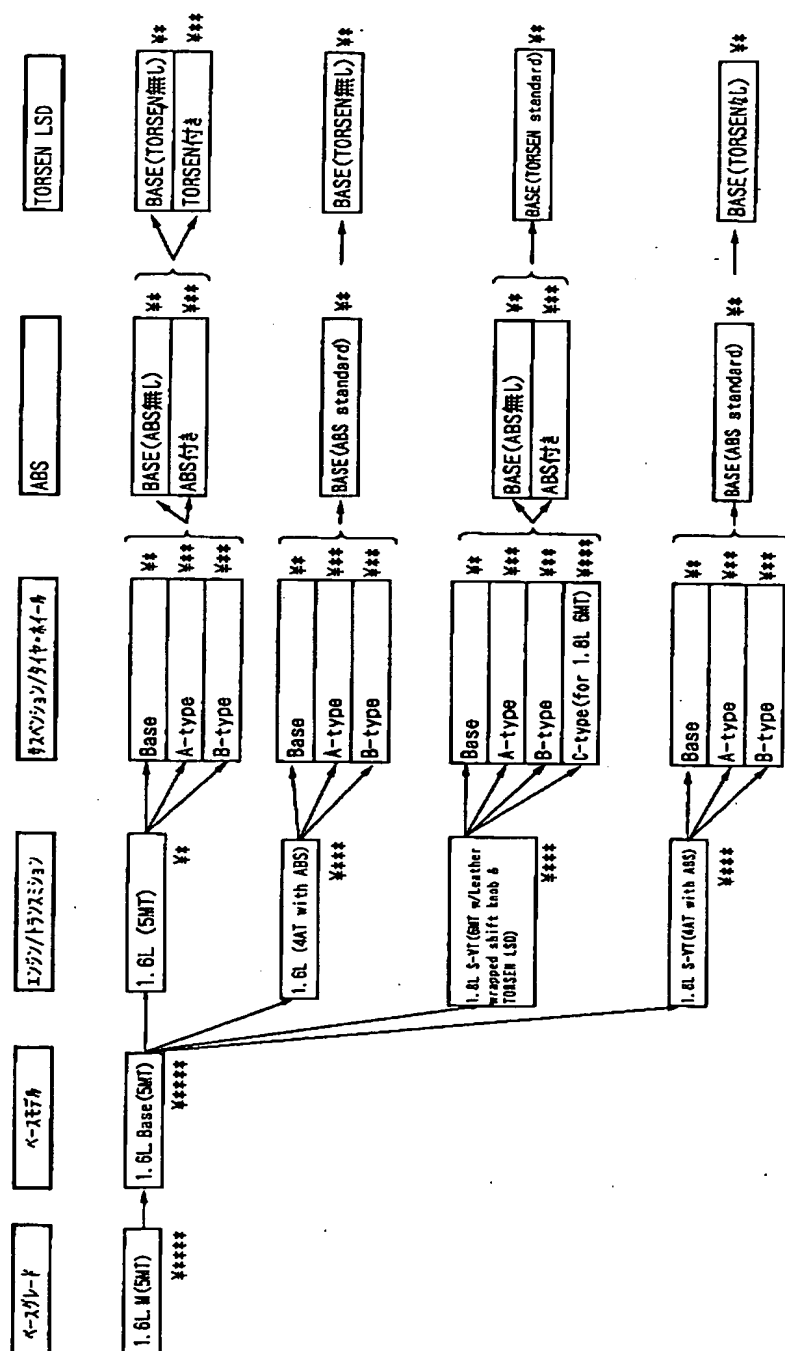
【図 7】



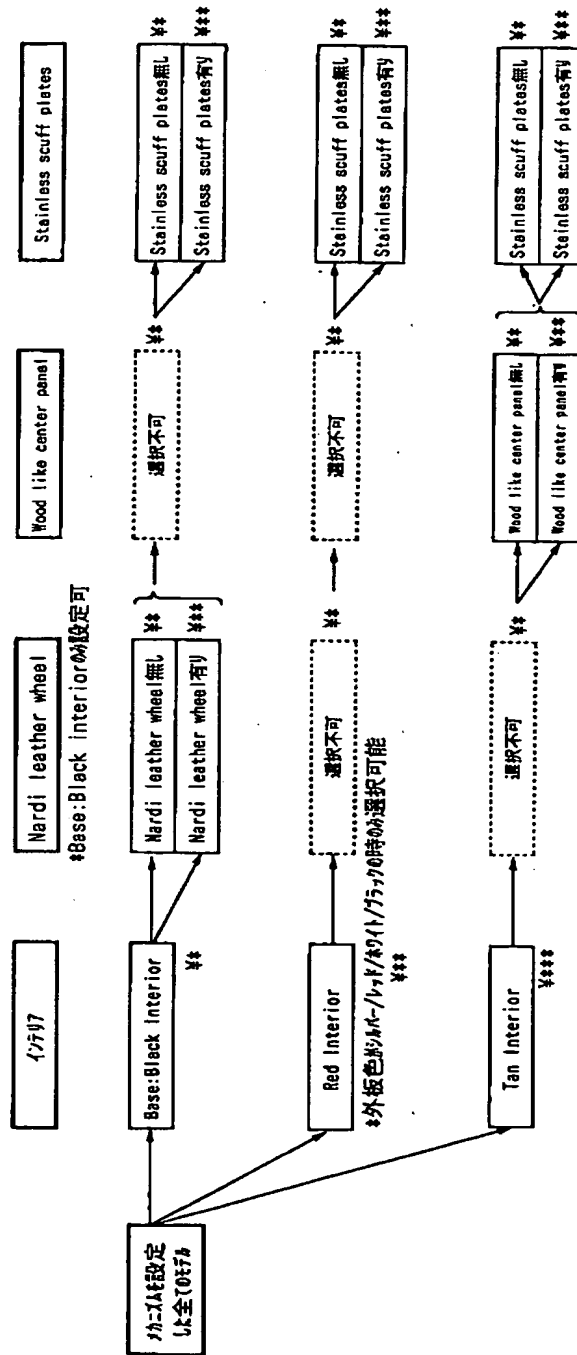
【図 8】



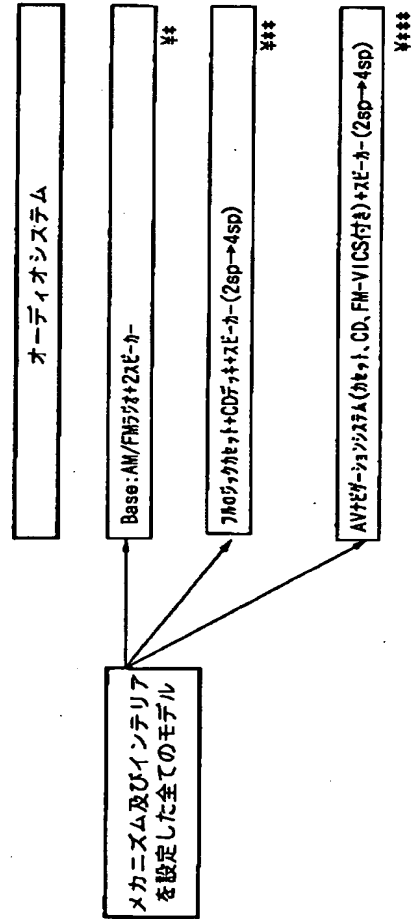
【図 9】



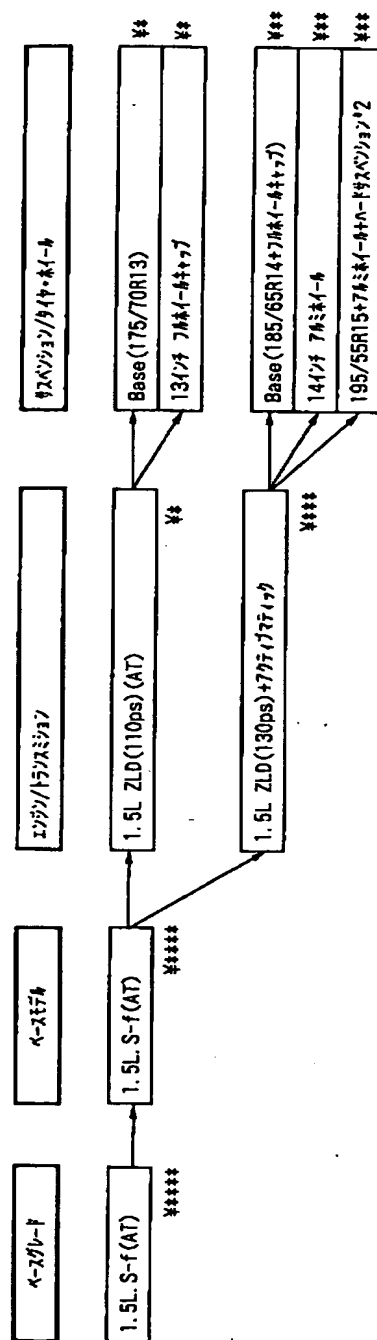
【図 10】



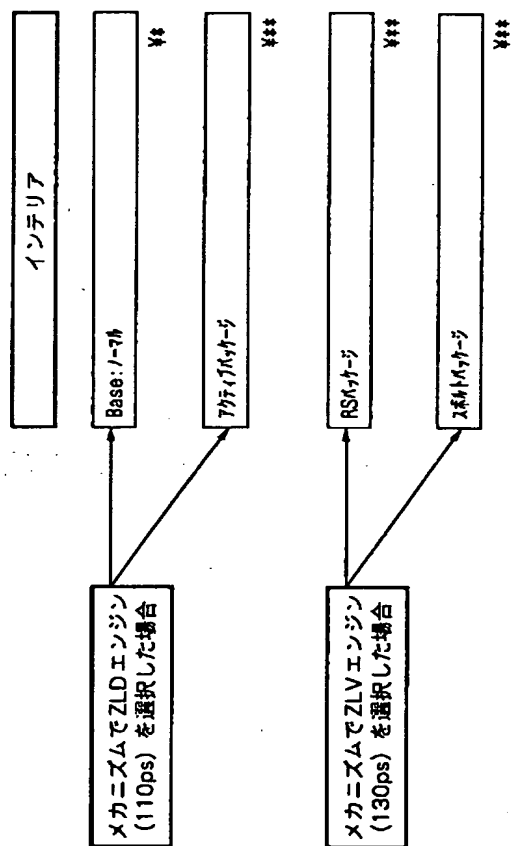
【図 11】



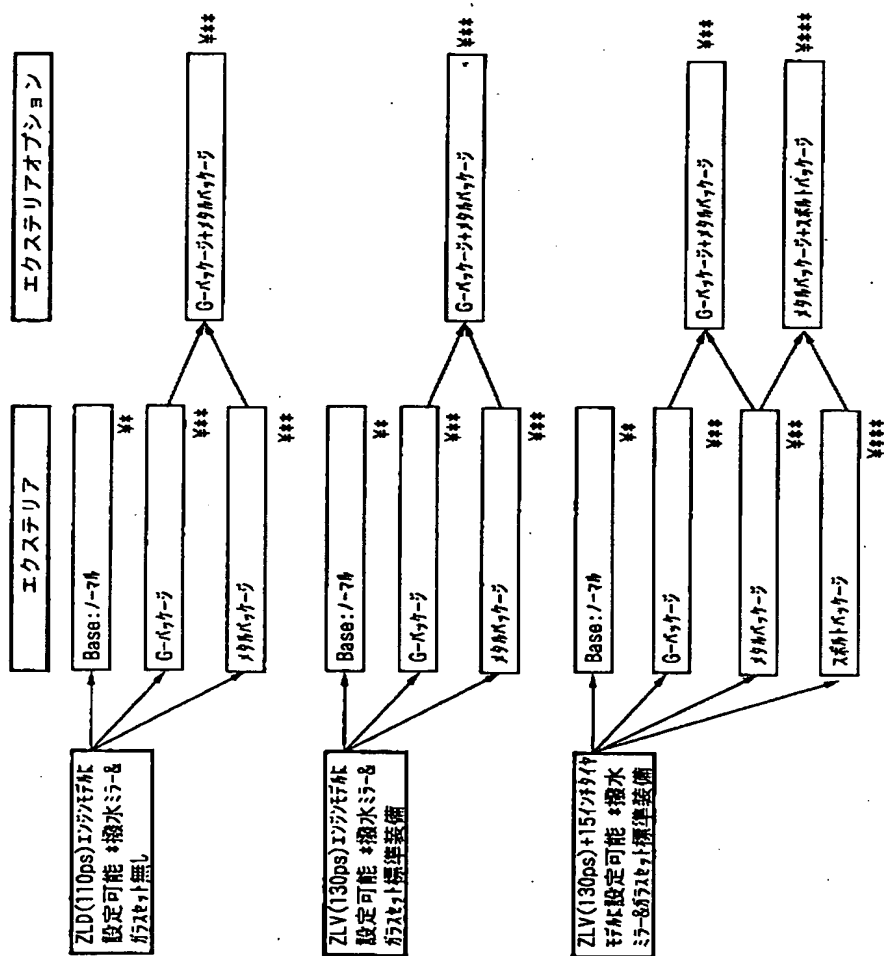
【図 12】



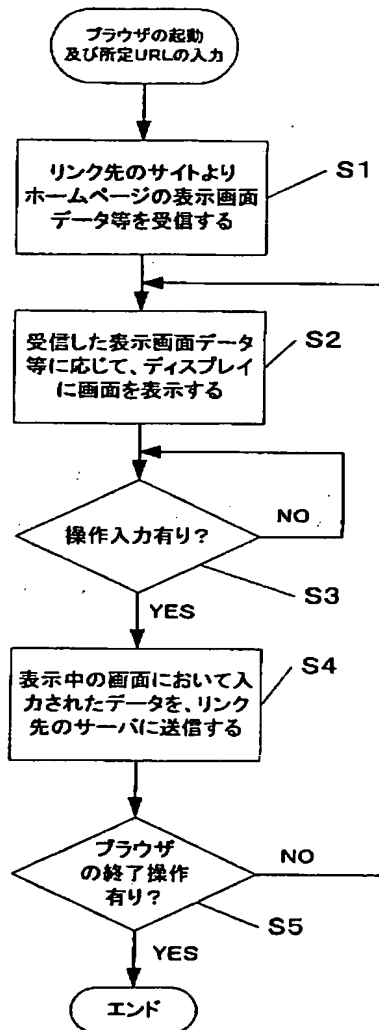
【図 13】



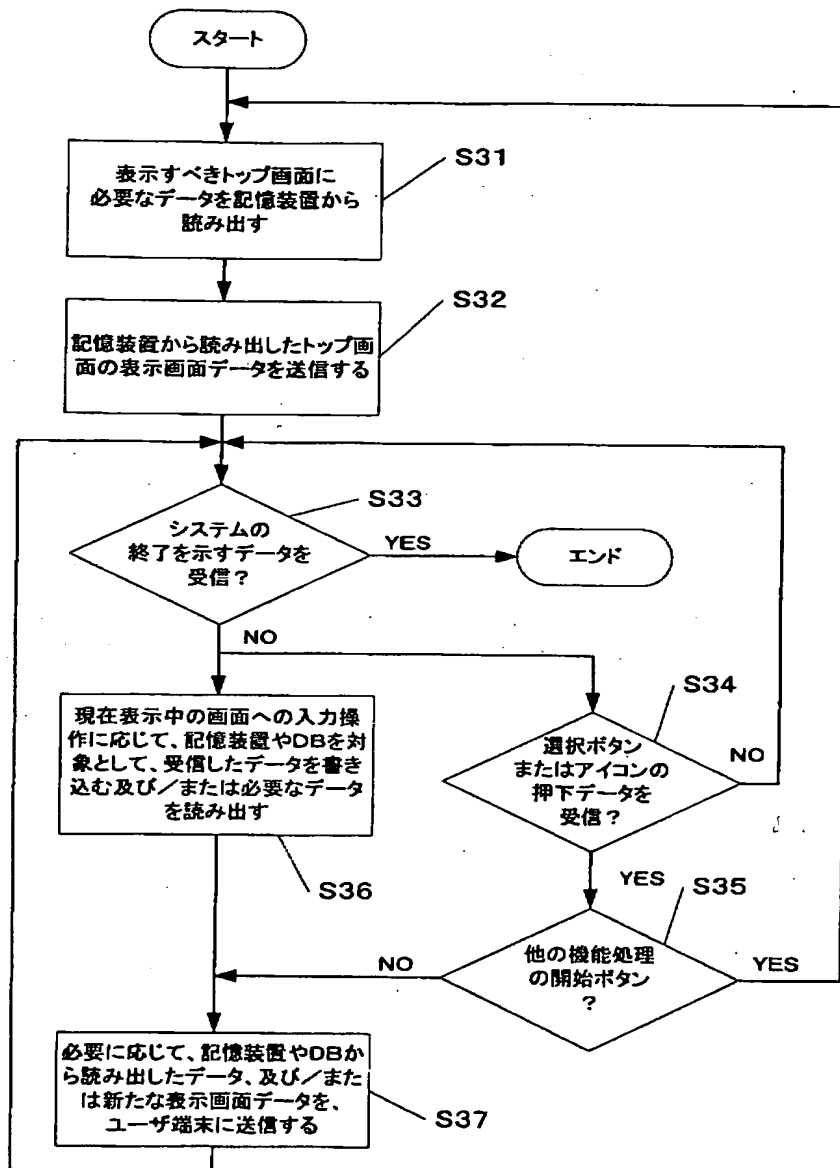
【図 14】



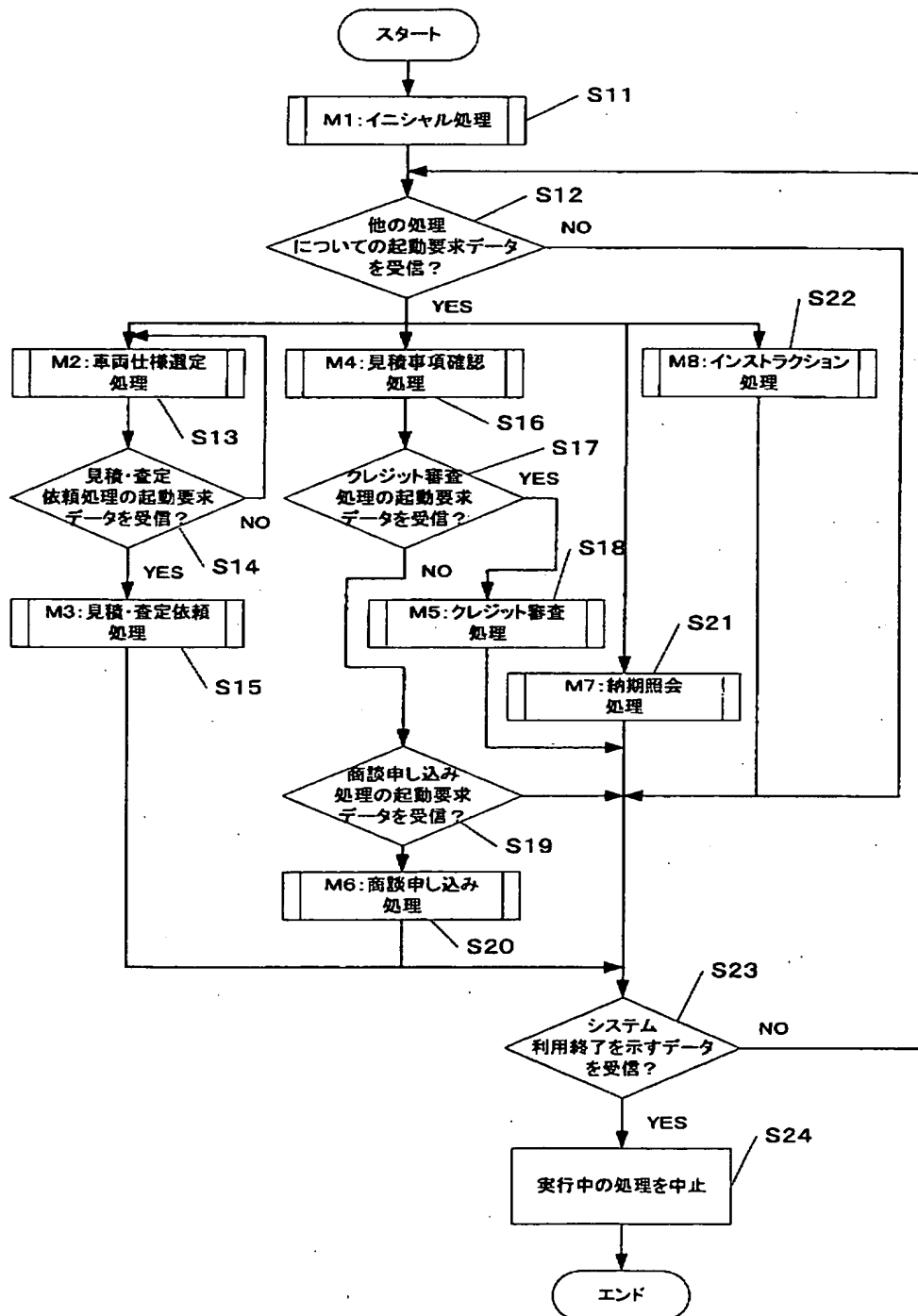
【図 15】



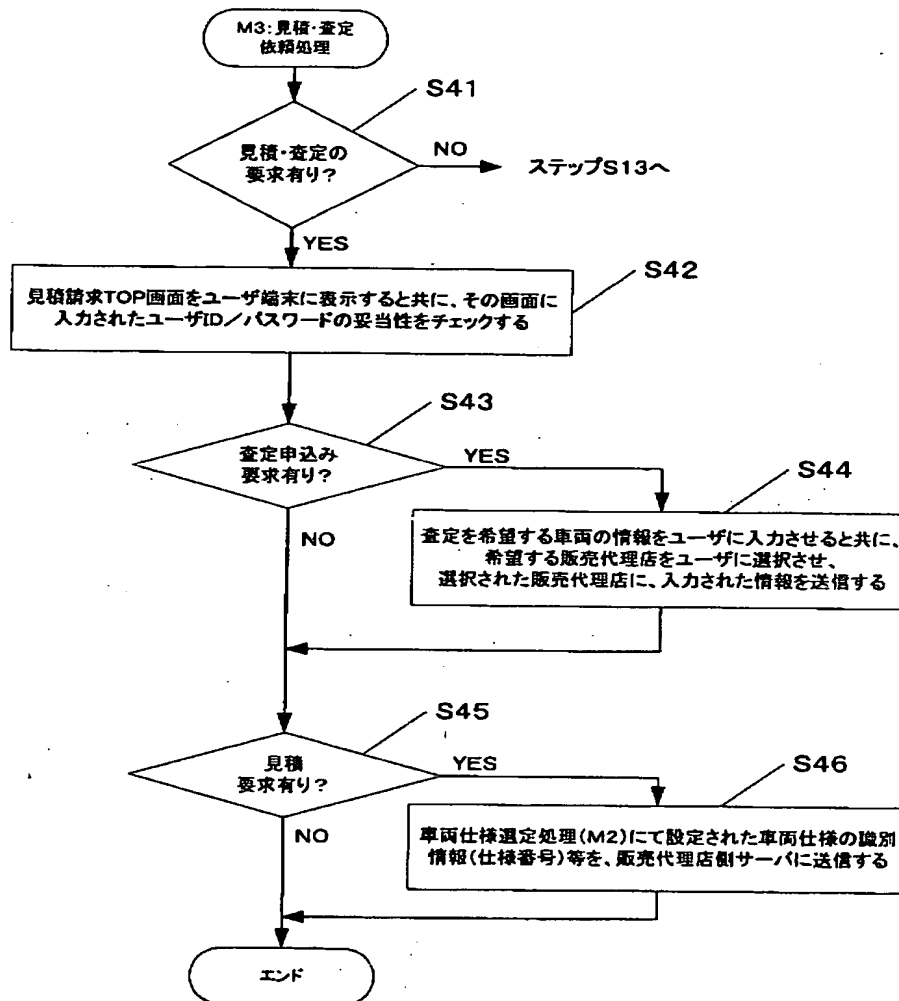
【図 1 6】



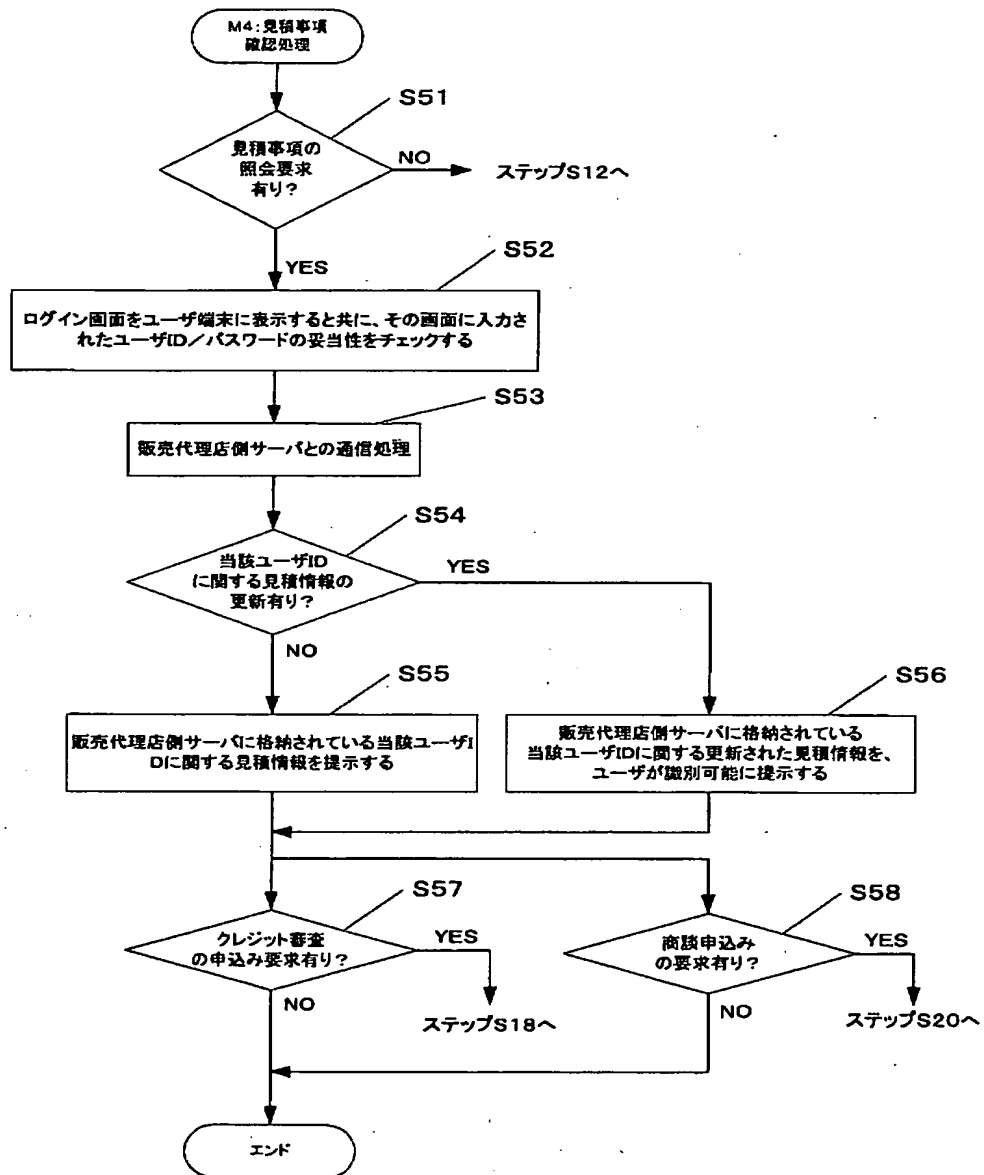
【図 17】



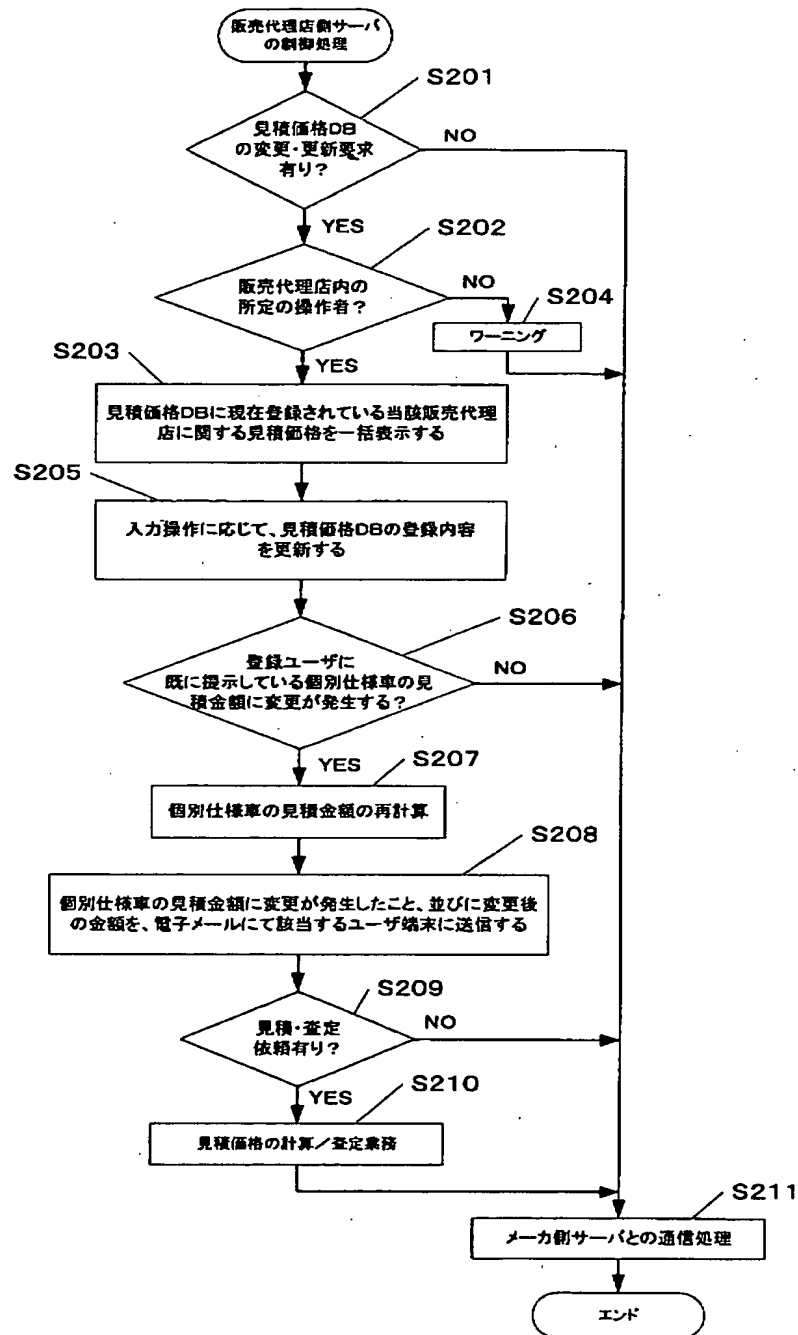
【図 18】



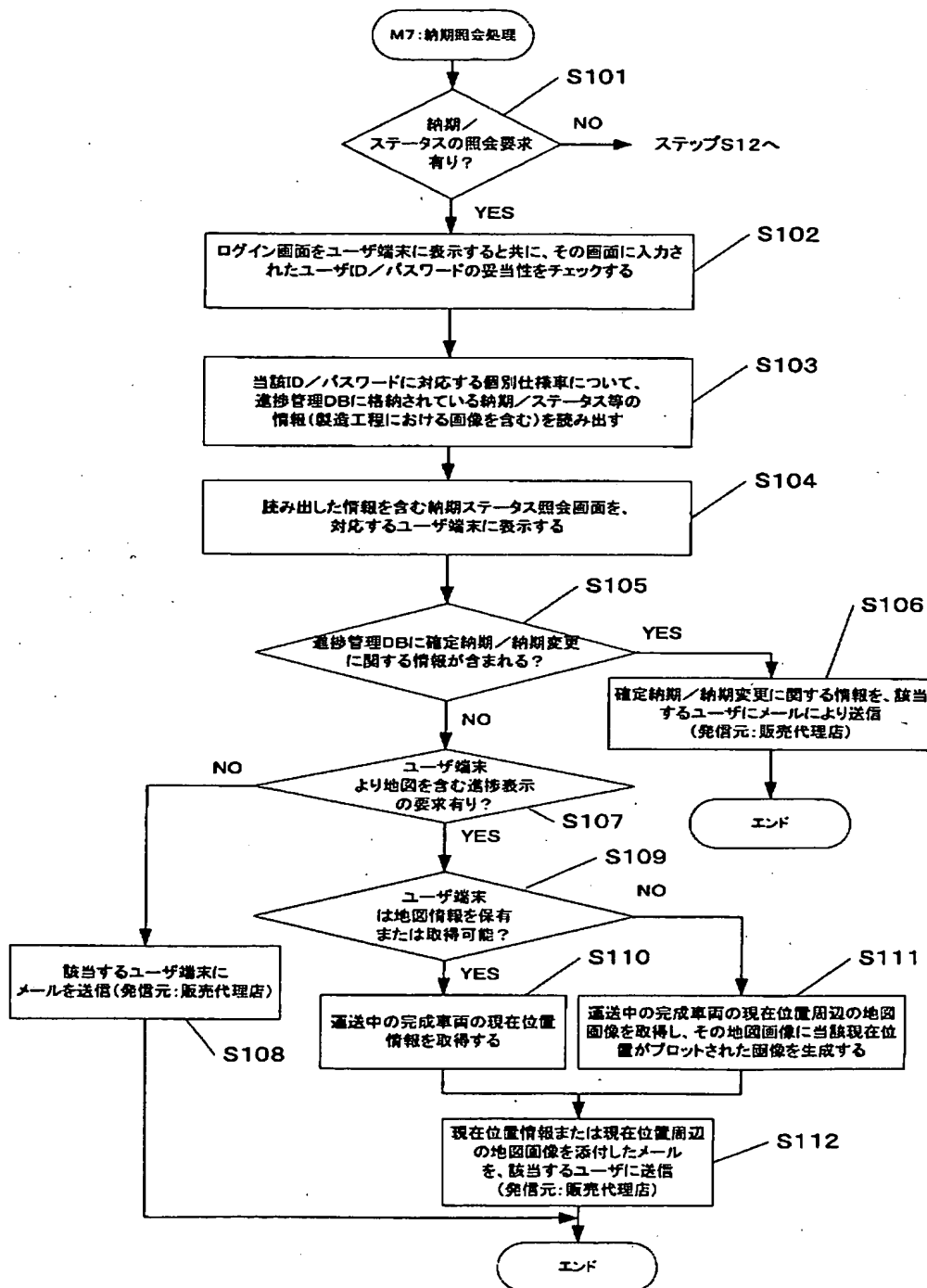
【図19】



【図20】



【図 21】



【図 2 2】

車両ステータス納期照会									
〇〇 様		車種 A(スポーツタイプ) 1.6L (5MT) クラシックレッド 販売車種コード: AABCCD				契約販売会社: M販売33支店			
<div>現在のお取り寄せ</div> <div>↑ ↑ ↑</div> <div>コンピュータ写真 生産待ち 2001.2.1</div> <div>生産予定写真 生産中 2001.2.1</div> <div>船の写真 船輸送中 2001.2.1</div> <div>流通センター写真 流通センター入庫中 2001.2.1</div> <div>カー写真 販売会社へ送付中</div> <div>販売会社写真 販売会社へ送付中</div> <div>人車写真 納車可能日</div>									

(現在〇〇様のお車は流通センター入庫中です。)

(注意)
この車両ステータス納期照会は販売会社にて契約後、メーカーにオーダーされるまでは表示されません
詳細については契約された販売会社にお問合わせください。

戻る

【図 23】

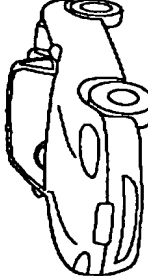
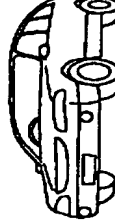
個別仕様車見積・発注システム

取り扱い車両の写真

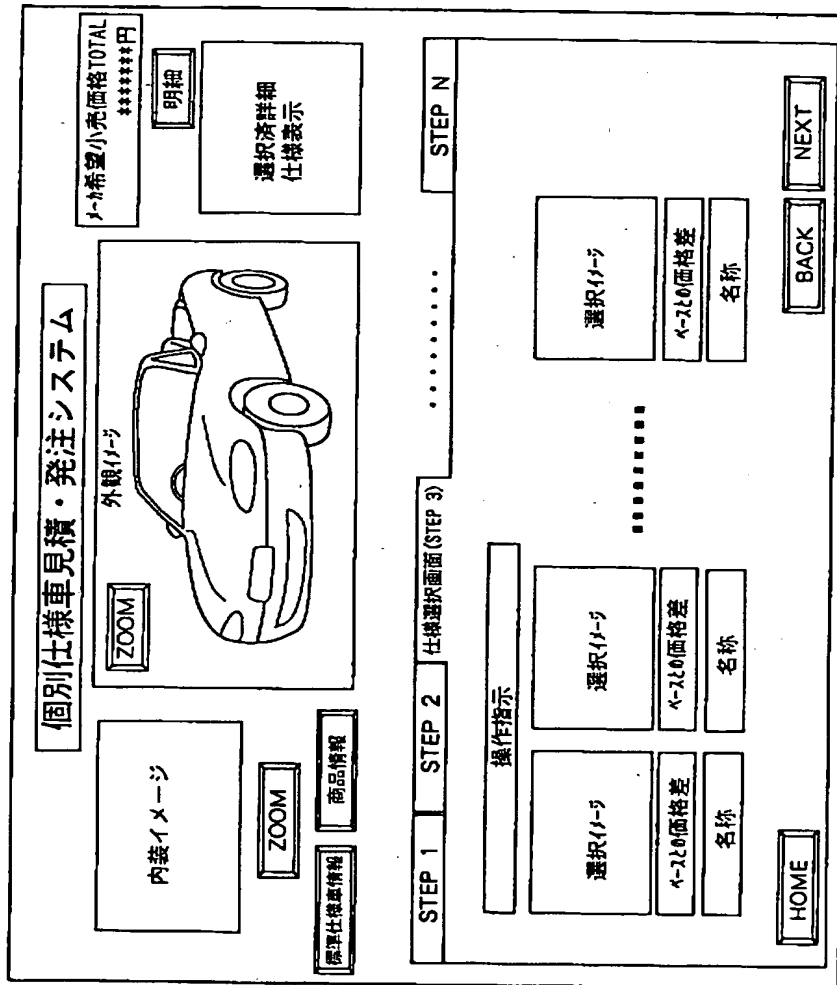
サイトの概説

Enter


【図 24】

個別仕様車見積・発注システム	
<div>このサイトについて</div> <div>ご購入手順</div>	<p>カスタマイズしたいクルマをクリックしてください</p> <div>  <p>車種 A (スポーツタイプ)</p> </div> <div>  <p>車種 B (ワゴンタイプ)</p> </div> <div>ご購入検討一覧</div> <div>ご購入車両納期照会</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・ご購入手順説明も一時保存など便利な機能の説明 ・コミュニティへの入口 (売れ筋ランキング、購入者の声) ・商談申込ボタン ・ご購入車両納期照会 </div>
<div> <div>車両メーカー公式サイト</div> <div>TOP 画面</div> <div>プライバシーポリシー</div> <div>お問い合わせ</div> </div>	

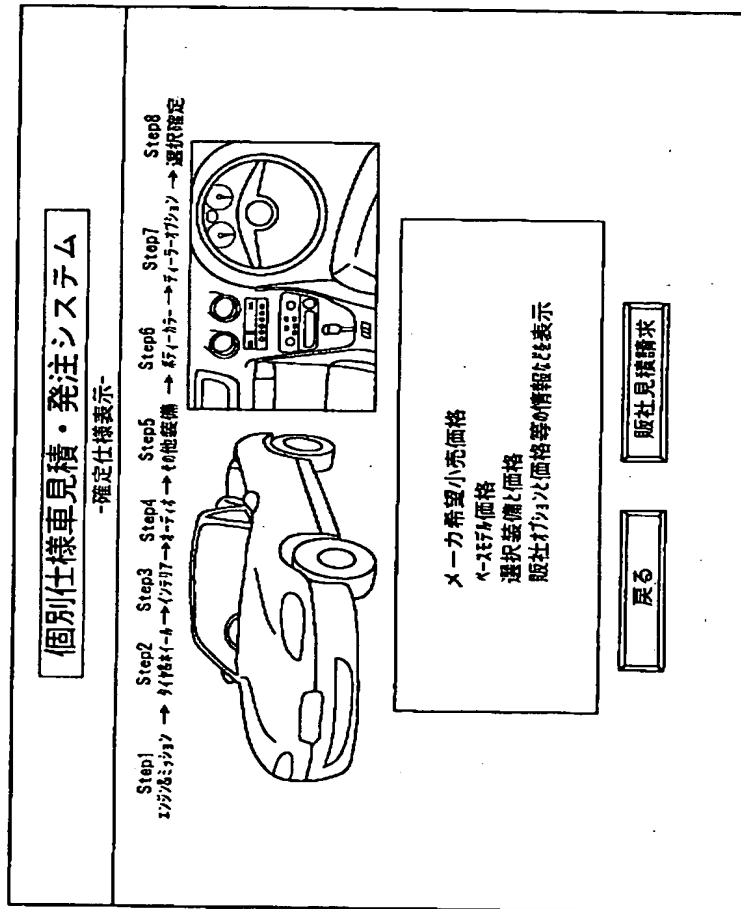
【図 25】



【図 26】

メーカー希望小売価格TOTAL		*****円
メーカー装備計		*****円
ベースモデル		*****円
エンジン&ミッション		
1.6L (125PS) & 4AT ABS 付		*****円
サスペンション/タイヤ&ホイール		
185/60R14 & alloy wheel		*****円
エクステリア(塗装色) 		*****円
フォグランプ		
パワーミラー		*****円

【図 27】



【図 28】

個別仕様車見積・発注システム

販売価格見積り請求と簡易査定申込

以下の全ての項目に必要な事項をご入力いただき、次へのボタンをクリックしてください

- 本サービスのID/パスワードを既に取得されている方は、以下の入力し、表示ボタンをクリックしてください。一部入力が増減できます。

ID

パスワード

(お客様情報)

・ご氏名

・フリガナ

● 簡易査定を申し込みますか？

☐ はい
☐ いいえ

→

【図 29】

個別仕様車見積・発注システム

● 以下のすべての項目をご記入ください。

● 燃料であなたの愛車を査定し、e-mailで回答致します。

● あくまでもお申し込み頂いた内容での標準状態の価格ですので、参考値としての値のある価格でしかご回答できません。ご了承ください。

● また、この価格で下取りを保証するものではありません。

● 正式には、新車ご購入契約時に、下取り車の詳細査定をさせていただきます。

● メーカー名

● 車名

● ボディタイプ

● 排気量

● グレード

● ミッションタイプ

● 燃料 OMT OAT O その他

● 駆動方式 O ガソリン O 軽油 O その他

● ドア数 OFF O FR O 4WD O その他

● ボディカラー O2 F7 O3 F7 O4 F7 O5 F7

● 初年度登録 平成12年 3月

● 次回車検 平成12年 3月

● 走行距離 km (半角数字)

● 事故歴 O あり O なし

戻る
次へ

【図 30】

個別仕様車見積・発注システム
<p>会員IDとパスワードを入力の上、 送信ボタンをクリックして下さい。</p> <div><div>会員ID</div><div>パスワード</div><div>送信</div></div>

【図 3 1】

個別仕様車見積・発注システム

【〇〇〇〇様のご購入検討一覧】

それぞれをクリックすると、詳細をご覧になれます。ご商談申込みは、ご希望のお見積額をクリックして表示される見積詳細画面の「商談申込」ボタンにて行うことができます。

お見積一覧

見積ID	見積回答日	車名	エンジン/ミッション	ボディカラー	ボディ	ボディ内装	見積ディレーラ
E0031	2001.2.10	車種A(1600/5MT)	1800/5MT	ボディ	ボディ	ボディ内装	〇〇〇〇
E00157	2001.2.15	車種A(1600/5MT)	1800/5MT	ボディ	ボディ	ボディ内装	〇〇〇〇
E00382	2001.2.23	車種A(1600/5MT)	1800/5MT	ボディ	ボディ	ボディ内装	〇〇〇〇

下取り車簡易査定一覧

駆動方式

査定ID	査定回答日	メーカー名	車名	エンジン/ミッション	駆動方式	ボディカラー	査定ディレーラ
T00032	2001.2.10	〇〇	□□	1600/MT	MR	ボディ	〇〇〇〇
T00055	2001.2.10	△△	◇◇	1500/AT	FF	ボディ	〇〇〇〇

クレジット審査一覧

審査：〇〇〇〇社

審査ID	審査回答日	購入合計額	頭金(下取り含む)	支払い回数	審査結果
C00035	2001.2.10	****円	****円	36	OK
C00035	2001.2.10	****円	****円	24	NG

戻る

次へ

【図 3 2】

個別仕様車見積・発注システム	
〇〇〇〇 販社見積結果詳細	
<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">ご商談申込</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-left: 10px;">クレジット検討</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-left: 10px;">見積仕様イメージ確認</div>	
見積 No. 1234567 見積回答日: 2000.3.5 見積有効期限: 2000.4.5 見積販社: 関東△△世田谷営業所	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>● お見積もり 総額 *****円</p> <p>■ 車両価格 *****円</p> <p>ベース 185/60R14& allow wheel +*****円</p> <p>フォグランプ +*****円</p> <p>AV-ミラー +*****円</p> <p>Red suede synthetic & Nardi leather +*****円</p> <p>パワードロック +*****円</p> <p>■ オプション総額 *****円</p> <p>シートリフター 品番 A010 +*****円</p> <p>キーホルダー 品番 A020 +*****円</p> <p>ナビ-フルート 品番 A050 +*****円</p> <p>■ 車両合計 *****円</p> <p>■ 重量税 *****円</p> <p>■ 取得税 *****円</p> <p>■ 自動車税 (2月登録) *****円</p> <p>■ 消費税</p> <p>■ 自賠責保険 (37ヶ月) *****円</p> <p>■ 諸費用 *****円</p> <p style="text-align: right;">合計 *****円</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">ご購入検討一覧に戻る</div>	

【図33】

個別仕様車見積・発注システム	
クレジット計算	クレジット計算 ※当該車両は、与信審査の結果がOKであれば、特別低金利〇〇%が適用されます。
クレジット計算	<div>クレジット計算</div> <div> <input type="checkbox"/> お車ご購入総額 購入合計金額(円) [*****] </div> <div> <input type="checkbox"/> 頭金 (下取り査定価格を含む)を簡易査定結果等を参考に入力して 頭金 (下取り金額を含む) (円) [] </div> <div> <input type="checkbox"/> クレジットご利用元金は クレジット立替元金 (円) [*****] </div> <div> <input type="checkbox"/> お支払い回数をお選びください 支払回数 [36回] <input checked="" type="checkbox"/> </div> <div> <input type="checkbox"/> お支払い方法をお選びください ボーナス併用 <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ ボーナス支払月 [6月] <input checked="" type="checkbox"/> [12月] <input checked="" type="checkbox"/> ボーナス月加算額 (円) [] × 2回(年間) </div>
見積詳細画面	<div>計算実行</div> <div>クリア</div>

【図34】

個別仕様車見積・発注システム

クレジット計算結果

お支払い回数	回
クレジット立替元金	円
手数料率(金利)	%
分割払い手数料	円
クレジット総お支払い金額	円
初回お支払い金額	円
毎月のお支払い金額	円× 回
ボーナス月の加算金額	円× 回

※クレジット計算結果は、あくまでの参考図格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

※クレジット利用は、〇〇〇〇で承ります。その際、必ずクレジット審査申込ボタンをクリックし、クレジット審査を申し込んでください。

見積詳細画面

戻る

クレジット審査申込

【図35】

個別仕様車見積・発注システム	
<p>商談申込</p> <p>※空欄の箇所を全てご入力ください。商談予定車種、お客様情報をご確認のうえ、</p> <p>●以下にお答えください</p> <p><input type="checkbox"/> 下取りの車はございますか？ ○ある ○ない</p> <p>販売会社での商談時に詳細査定をさせて頂きました。ご了承ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 支払いは特別低金利2.9%プライマリーストもご利用いただけますか？ ○利用する ○利用しない(現金)</p> <p><input type="checkbox"/> 商談ご希望日はいつが宜しいでしょうか？ ※本日より6日以内で選択ください。 月 日</p> <p>●お客様の商談予定車種は以下のとおりです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">個別仕様車の詳細</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">戻る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">商談申込</div>

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 納車までの特定車両の進捗状況をユーザに提供することにより、エンターテインメント性を演出する。

【解決手段】 自動車メーカーに属する情報提供装置とユーザが所有するユーザ端末とを利用してオンラインで車両情報提供するに際して、当該端末より受信したユーザを特定する識別情報に従って、進捗管理DBに格納されている納車前の複数車両の進捗状況に関する情報の中から、その識別情報に対応する特定車両の進捗状況に関する情報（例えば、組み立て中の撮影画像や搬送中の位置情報等を含む）を取得する共に、取得した情報を、該識別情報が送出されたユーザ端末に提供する。

【選択図】 図 2 2

【書類名】 手続補正書
 【提出日】 平成13年 9月20日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【事件の表示】

【出願番号】 特願2001- 14544

【補正をする者】

【識別番号】 000003137

【氏名又は名称】 マツダ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100076428

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 康德

【電話番号】 03-5276-3241

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許願

【補正対象項目名】 発明者

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明者】

【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

【氏名】 高岡 啓喜

【発明者】

【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

【氏名】 鴉越 聡

【発明者】

【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

【氏名】 池田 興二

【発明者】

【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

【氏名】 後藤 誠

【発明者】

【住所又は居所】 広島県安芸郡府中町新地 3 番 1 号 マツダ株式会社内

【氏名】 上田 芳輝

【その他】 本補正書は、本願出願時の「特許願」に記載された発明者の氏名に関して、「 鴉越 聡 」と表記すべきところ、錯記による「 鴉越 聡一 」なる誤記を、「 鴉越 聡 」に訂正することを趣旨とする。

【プルーフの要否】 要

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003137]

1. 変更年月日 1990年 8月22日
[変更理由] 新規登録
住 所 広島県安芸郡府中町新地3番1号
氏 名 マツダ株式会社